

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	日本工学院八王子専門学校
設置者名	学校法人 片柳学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
工科技術専門課程	一級自動車整備科	夜・通信	4,171 時間	80 時間×4＝320 時間	
	自動車整備科	夜・通信	2,200 時間	80 時間×2＝160 時間	
	建築学科	夜・通信	4,185 時間	80 時間×4＝320 時間	
	建築設計科	夜・通信	2,415 時間	80 時間×2＝160 時間	
	ロボット科	夜・通信	1,470 時間	80 時間×2＝160 時間	
	応用生物学科	夜・通信	1,140 時間	80 時間×2＝160 時間	
	機械設計科	夜・通信	2,070 時間	80 時間×2＝160 時間	
	電子・電気科 電子工学コース	夜・通信	1,620 時間	80 時間×2＝160 時間	
	電子・電気科 電気工学コース	夜・通信	2,010 時間	80 時間×2＝160 時間	
	電子・電気科 電気工事コース	夜・通信	2,130 時間	80 時間×2＝160 時間	
	土木・造園科	夜・通信	2,385 時間	80 時間×2＝160 時間	

情報科学専門課程	ゲームクリエイター科四年制 ゲームプログラマーコース	夜・通信	3,570 時間	80 時間×4＝ 320 時間	
	ゲームクリエイター科四年制 ゲームプランナーコース	夜・通信	3,570 時間	80 時間×4＝ 320 時間	
	ゲームクリエイター科四年制 ゲームCGデザイナーコース	夜・通信	2,700 時間	80 時間×4＝ 320 時間	
	ゲームクリエイター科	夜・通信	930 時間	80 時間×2＝ 160 時間	
	ゲームクリエイター科 ゲームプログラマーコース	夜・通信	900 時間	80 時間×2＝ 160 時間	
	ゲームクリエイター科 ゲームプランナーコース	夜・通信	900 時間	80 時間×2＝ 160 時間	
	ゲームクリエイター科 ゲームビジネスコース	夜・通信	900 時間	80 時間×2＝ 160 時間	
	CG映像科	夜・通信	2,970 時間	80 時間×3＝ 240 時間	
	ITスペシャリスト科 AI・システム専攻	夜・通信	3,135 時間	80 時間×4＝ 320 時間	
	ITスペシャリスト科 ネットワーク・クラウド専攻	夜・通信	3,105 時間	80 時間×4＝ 320 時間	
	ITスペシャリスト科 セキュリティ専攻	夜・通信	4,725 時間	80 時間×4＝ 320 時間	
	ITスペシャリスト科 システム専攻	夜・通信	1,620 時間	80 時間×4＝ 320 時間	
	ITスペシャリスト科 モバイルアプリ専攻	夜・通信	1,620 時間	80 時間×4＝ 320 時間	
	ITスペシャリスト科 ネットワーク専攻	夜・通信	1,530 時間	80 時間×4＝ 320 時間	
	情報処理科 システム開発コース	夜・通信	2,415 時間	80 時間×2＝ 160 時間	
	情報処理科 モバイルアプリ開発コース	夜・通信	2,415 時間	80 時間×2＝ 160 時間	
	情報処理科 システム運用コース	夜・通信	2,265 時間	80 時間×2＝ 160 時間	
	AIシステム科	夜・通信	2,895 時間	80 時間×2＝ 160 時間	
	情報ビジネス科	夜・通信	1,935 時間	80 時間×2＝ 160 時間	
	ネットワークセキュリティ科 ネットワーク専攻	夜・通信	2,445 時間	80 時間×2＝ 160 時間	
	ネットワークセキュリティ科 セキュリティ専攻	夜・通信	2,445 時間	80 時間×2＝ 160 時間	
	医療事務科	夜・通信	1,515 時間	80 時間×2＝ 160 時間	

芸術専門課程	マンガ・アニメーション科四年制	夜・通信	6,060 時間	80 時間×4＝320 時間	
	マンガ・アニメーション科	夜・通信	4,200 時間	80 時間×2＝160 時間	
	放送芸術科	夜・通信	2,370 時間	80 時間×2＝160 時間	
	声優・演劇科	夜・通信	4,270 時間	80 時間×2＝160 時間	
	コンサート・イベント科	夜・通信	2,610 時間	80 時間×2＝160 時間	
	音響芸術科	夜・通信	2,640 時間	80 時間×2＝160 時間	
	ミュージックアーティスト科 プレイヤーコース	夜・通信	1,710 時間	80 時間×2＝160 時間	
	ミュージックアーティスト科 ヴォーカリストコース	夜・通信	1,710 時間	80 時間×2＝160 時間	
	ミュージックアーティスト科 サウンドクリエイターコース	夜・通信	1,710 時間	80 時間×2＝160 時間	
	スポーツトレーナー科三年制	夜・通信	6,180 時間	80 時間×3＝240 時間	
	スポーツ健康学科三年制 サッカーコース	夜・通信	5,010 時間	80 時間×3＝240 時間	
	スポーツ健康学科三年制 テニスコース	夜・通信	4,860 時間	80 時間×3＝240 時間	
	スポーツ健康学科三年制 スポーツインストラクターコース	夜・通信	5,460 時間	80 時間×3＝240 時間	
	スポーツ健康学科三年制 スポーツビジネスコース	夜・通信	4,230 時間	80 時間×3＝240 時間	
	スポーツ健康学科 サッカーコース	夜・通信	3,765 時間	80 時間×2＝160 時間	
	スポーツ健康学科 テニスコース	夜・通信	3,615 時間	80 時間×2＝160 時間	
	スポーツ健康学科 スポーツインストラクターコース	夜・通信	3,585 時間	80 時間×2＝160 時間	
	スポーツ健康学科 スポーツビジネスコース	夜・通信	3,000 時間	80 時間×2＝160 時間	
	スポーツトレーナー科	夜・通信	4,095 時間	80 時間×2＝160 時間	
	デザイン科 グラフィックデザイン専攻	夜・通信	2,790 時間	80 時間×3＝240 時間	
	デザイン科 イラストレーション専攻	夜・通信	2,610 時間	80 時間×3＝240 時間	
	デザイン科 インテリアデザイン専攻	夜・通信	2,820 時間	80 時間×3＝240 時間	
	デザイン科 プロダクトデザイン専攻	夜・通信	2,790 時間	80 時間×3＝240 時間	
医療専門課程	柔道整復科	夜・通信	2,640 時間	80 時間×3＝240 時間	
	鍼灸科	夜・通信	2,780 時間	80 時間×3＝240 時間	

(備考)

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

HPにて授業科目一覧を公開。授業科目一覧の中で、教員の実務経験に関するチェック欄あり。 (掲載 URL https://www.neec.ac.jp/tuitionfree/nhac/syllabus/)
--

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名

(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	日本工学院八王子専門学校
設置者名	学校法人 片柳学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

学校法人片柳学園 HP 情報公開ページ「役員・評議員」にて公開している。
(掲載 URL <https://www.katayanagi.ac.jp/kokai/>)

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	株式会社代表取締役	2019. 4. 1～ 2028. 7. 11	関係業界知識の教育への反映, 企業経営者としての経験
非常勤	元地方自治体首長	2012. 12. 1～ 2026. 4. 27	産官学連携
非常勤	企業グループ会長	2020. 4. 1～ 2028. 7. 11	企業経営者としての経験
非常勤	建築設計会社代表	2021. 4. 1～ 2028. 7. 11	関係業界知識の教育への反映, 企業経営者としての経験
非常勤	創業株式会社顧問	2021. 4. 1～ 2026. 8. 1	同窓会会長・企業経営者としての経験
(備考) 任期は最初の就任日から任期満了日を記載している。			

様式第 2 号の 3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	日本工学院八王子専門学校
設置者名	学校法人 片柳学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。	
(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)	
・作成について 各授業科目について、毎年度、学科会議により授業科目の設定・講義内容についての検討に基づき、各授業（各学科）担当教員により作成を行っている。なお、専門分野に関する企業、団体等との連携による教育課程編成委員会を設け意見交換を行い、各授業科目の内容に反映させている。 また、シラバスは「日本工学院八王子専門学校授業計画（シラバス）ガイドライン」に基づいて、学内統一様式にて作成をおこなっている。 ・公表について 学則に定める教育課程は、前々年度の理事会にて承認決定されている。これに基づく具体的な授業計画（シラバス）については、前年 10 月から 12 月に担当教員が作成して学内承認後、当該年度 4 月に H P 上に公開する。	
授業計画書の公表方法	掲載 URL https://www.neec.ac.jp/tuitionfree/nhac/syllabus/

2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。

(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)

全ての学科に必要な学修内容を現した「教育設計図」を策定している。「教育設計図」とは卒業までに学生が身につけなければならない知識・技術と社会人基礎力をステップ式で習得していく過程を明確にし、学生と教員が共有する本校独自のシステムである。「教育設計図」を基礎とし、学則並びに履修要綱において、出席、試験、成績、進級および卒業要件について規定し、当該規定を遵守して各学生の学修成果に対して厳格な評価を実施している。なお、学生に対しては当該規定を学生便覧に記載して周知を図っている。

学則抜粋：

(試験・成績評価)

第 21 条 試験に関する事項は、校長が別に定める。別紙 1 のとおりとする。

2. 各学期、授業日数の 4 分の 3 以上出席しないものは受験できない。

3. 成績評価は、学年末において、各学期末に行う試験、実習の成果、履修状況等を総合的に勘案して行う。

(卒業・修了の認定)

第 23 条 校長は、教育課程の定めるところにより、各学年ごとに修了すべき学科目について試験を行ない、合格者に対して当該学科目の修了を認定する。

ただし、実験・実習については、実験・実習報告書等によって修了を認定することができる。

学生便覧抜粋：

掲載 URL <https://www.neec.ac.jp/hachioji/nhac-handbook/>

5. 授業

(5) 授業の出席・欠席・遅刻・早退

出欠は各科目担任が取る。

履修する授業科目の授業は毎回出席しなければならない。出欠の状態は成績を評価する際の重要な要素となる。出席不良者は試験受験資格を失い履修が認められなくなるので、出席には十分に注意すること。また、欠席した者は欠席届を学級担任に提出すること。

6. 試験

(1) 試験及び受験資格

①授業科目の評価をするために試験を行う。

②試験は筆記試験、面接試験、レポート提出及びその他とする。

③全学統一した試験は期末試験として、その他は科目担当教員の計画に従って随時実施する。

④学生は定められた規定に従って履修した授業科目についてのみ受験できる。

⑤授業科目毎に授業時数の 4 分の 3 以上出席しない者は受験できない。

⑥その学期までの授業料を納入していない者は受験できない。

⑦休学中の者は受験できない。

⑧追試験とは、病気や事故などやむを得ない事情により試験を受けることができなかった者に対して行う試験をいい、再試験とは試験の成績不良者に対して行う試験をいう。

7. 成績

(1) 成績評価

①試験の成績は 100 点満点とし、60 点以上をもって合格とする。

②試験のよって不合格となった科目に対しては再試験を行う。

8. 進級及び卒業要件

(1) 進級要件

進級するためには次の要件を全て満たさなければならない。

- ①各学年の授業日数の4分の3以上出席していること。
- ②各学年年間800時間以上の授業時間数を履修していること。
- ③一年次から二年次へ進級するためには各学科一年次の所定の単位数を取得していること。
- ④二年次から三年次へ進級するためには各学科二年次の所定の単位数を取得していること。
- ⑤三年次から四年次へ進級するためには各学科三年次の所定の単位数を取得していること。
- ⑥期日までに学費等の全額を納入していること。

(2) 卒業要件

卒業するためには次の要件を全て満たさなければならない。

- ①卒業するために必要な各学科所定の授業時間数を取得していること。
- ②卒業するために必要な各学科所定の単位数を取得していること。
- ③二年課程にあたっては2年以上(4年以内)、三年課程にあたっては3年以上(6年以内)、四年課程にあたっては4年以上(8年以内)在学していること。
- ④期日までに学費等の全額を納入していること。

3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。

(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)

履修要綱（学生便覧記載）において、学業の達成度を客観的に評価するための指標として GPA（Grade Point Average）を採用し、本校の成績評価に使用している。

具体的な算出方法は下記のとおりであるが、本校では GPA を基準に成績の分布状況の把握に努めているほか、学生個人の就職や大学編入学への推薦等の際にも客観的指標として GPA を活用している。

この客観的な成績評価指標については、HP で公開するほか、学生便覧にも記載して周知を図っている。

学生便覧抜粋：

7. 成績

(1) 成績評価

①試験の成績は 100 点満点とし、60 点以上をもって合格とする。

②試験によって不合格となった科目に対しては再試験を行う。

③学業成績表は次のように評価記号におきかえられる。

評価記号	評 価	
S	90 点以上	合格
A	80 点～89 点	
B	70 点～79 点	
C	60 点～69 点	
D	59 点以下	不合格
*	未受験（放棄）	
P	認定	

GPA（Grade Point Average）

学業の達成度を客観的に評価するための指標となる数値である。

GPA は成績評価の S～D に 4～0 ポイント（Grade Point）を付与し積算したものを履修総単位数で割って平均化した値で表し GPA の最高は 4.000 となる。（小数点 4 位以下切捨）

GPA =（各科目の評価ポイント×単位数）の合計/履修単位数の合計

評価ポイント S：4 A：3 B：2 C：1 D：0 *：0

客観的な指標の
算出方法の公表方法

掲載 URL

<https://www.neec.ac.jp/tuitionfree/nhac/>

4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。 (卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要) 日本工学院は、特定の業種・職種を通じて社会に貢献できる実践的職業人としての基礎や知識・技術と、必要な資格を身につけた人材、それぞれの分野において実践的専門職業人としての自覚を有する人材を育てます。 また地域社会や産業が持つ様々な問題を見つけ出し、連携してそれらの問題を解決してゆく能力を身につけるとともに、現代社会の一員としての責任を自覚し、自発的に貢献活動ができる人材を育成し社会に送り出します。 本校は、そのために卒業時点で身につけるべき能力について、ディプロマ・ポリシー（卒業認定の方針）を策定し、HPに公表している。 また、卒業要件については、学則並びに履修要綱（学生便覧記載）において、下記のとおり規定し、学生便覧において学生に周知を図っている。 学則抜粋： （卒業・修了の認定） 第 23 条 校長は、教育課程の定めるところにより、各学年ごとに修了すべき学科目について試験を行ない、合格者に対して当該学科目の修了を認定する。 ただし、実験・実習については、実験・実習報告書等によって修了を認定することができる。 第 24 条 本校所定の課程を修了した者には、卒業証書を授与する。 学生便覧抜粋： 8. 進級及び卒業要件 （2）卒業要件 卒業するためには次の要件を全て満たさなければならない。 ①卒業するために必要な各学科所定の授業時間数を取得していること。 ②卒業するために必要な各学科所定の単位数を取得していること。 ③二年課程にあたっては 2 年以上（4 年以内）、三年課程にあたっては 3 年以上（6 年以内）、四年課程にあたっては 4 年以上（8 年以内）在学していること。 ④期日までに学費等の全額を納入していること。	
卒業の認定に関する 方針の公表方法	掲載 URL https://www.neec.ac.jp/tuitionfree/nhac/

様式第 2 号の 4－②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第 2 号の 4－①を用いること。

学校名	日本工学院八王子専門学校
設置者名	学校法人 片柳学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	掲載 URL : https://www.katayanagi.ac.jp/kokai/
収支計算書又は損益計算書	同上
財産目録	同上
事業報告書	同上
監事による監査報告（書）	同上

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	日本工学院八王子専門学校
設置者名	学校法人 片柳学園

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名		学科名		専門士		高度専門士	
工業		工科技術専門課程		一級自動車整備科				○	
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数		開設している授業の種類					
				講義	演習	実習	実験	実技	
4 年	昼	4,236 単位時間 / 単位		984 単位時間 / 単位	192 単位時間 / 単位	3,060 単位時間 / 単位	0 単位時間 / 単位	0 単位時間 / 単位	
				4, 236 単位時間 / 単位					
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数		兼任教員数		総教員数	
100 人		51 人	0 人	4 人		4 人		8 人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 様式第2号の3【（3）厳格かつ適切な成績管理の実施及び公表】の1.を参照
成績評価の基準・方法
（概要） 様式第2号の3【（3）厳格かつ適切な成績管理の実施及び公表】の3.を参照
卒業・進級の認定基準
（概要） 様式第2号の3【（3）厳格かつ適切な成績管理の実施及び公表】の2.および4.を参照
学修支援等
（概要） 【個別相談・指導等の対応】欠席者に対しては、当日中に担任から電話・Eメール等で連絡することを基本とし、状況に応じて、数日続いた時点で保護者に連絡するなどの指導をしている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
20 人 (100%)	0 人 (0.0%)	19 人 (95.0%)	1 人 (5.0%)
（主な就職、業界等） スズキ(株)、(株)スズキ自販南東京、(株)ホンダ東京西、神奈川トヨタ自動車(株)、(株)村内外車センター、(株)イー・ビー・アイ・マーケティング、東京スバル(株)、トヨタモビリティ東京(株)、アウディジャパン販売(株)、日産プリンス神奈川販売(株)、ダイハツ東京販売(株)、ニッセルカーズ合同会社、山梨スバル自動車(株)、いすゞ自動車首都圏(株)、神奈川ダイハツ販売(株)、宮園輸入車販売(株)			
（就職指導内容） 求人情報開示、模擬面接、履歴書添削、個人面談、企業説明会			
（主な学修成果（資格・検定等）） 一級小型自動車整備士、二級ガソリン自動車整備士、二級ジーゼル自動車整備士、危険物乙四、電気取扱特別教育、ビジネス能力検定 3.2 級、損害保険募集人試験基礎単位、アーク溶接、ガス溶接、MOS（Excel, Word）、第二種電気工事士、3 次元 CAD 利用技術者 2 級			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
54 人	0 人	0.0%
（中途退学の主な理由）		
（中退防止・中退者支援のための取組） 学級担任と主任／科長による学生個人面談。懇談会・電話・オンライン面談等による保護者との情報共有。学級担任による指導のほかでは、学生生活における経済面のサポートとして学費・奨学金相談窓口、心身をサポートとしてヘルスサポートセンターを設け個々の学生に適した指導・助言・相談等を行っている。また、休学者にも復学（転科等）の指導・助言・相談も適時行っている。		

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	日本工学院八王子専門学校
設置者名	学校法人 片柳学園

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名		学科名		専門士		高度専門士	
工業		工科技術専門課程		自動車整備科		○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数		開設している授業の種類					
				講義	演習	実習	実験	実技	
2 年	昼	2,200 単位時間 / 単位		672 単位時間 / 単位	168 単位時間 / 単位	1,360 単位時間 / 単位	0 単位時間 / 単位	0 単位時間 / 単位	
				2,200 単位時間 / 単位					
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数		兼任教員数		総教員数	
150 人		63 人	16 人	4 人		3 人		7 人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 様式第2号の3【（3）厳格かつ適切な成績管理の実施及び公表】の1.を参照
成績評価の基準・方法
（概要） 様式第2号の3【（3）厳格かつ適切な成績管理の実施及び公表】の3.を参照
卒業・進級の認定基準
（概要） 様式第2号の3【（3）厳格かつ適切な成績管理の実施及び公表】の2.および4.を参照
学修支援等
（概要） 【個別相談・指導等の対応】欠席者に対しては、当日中に担任から電話・Eメール等で連絡することを基本とし、状況に応じて、数日続いた時点で保護者に連絡するなどの指導をしている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
43 人 (100%)	5 人 (11.6%)	32 人 (74.4%)	6 人 (14.0%)
（主な就職、業界等） サーラカーズジャパン(株)、トヨタ L&F 神奈川(株)、(株)ホンダ東京西、(株)村内外車センター、 宮園輸入車販売(株)、ウエインズトヨタ神奈川(株)、(株)ファーレン九州、三菱ふそうトラッ ク・バス(株)、神奈川中央交通(株)、UD トラックス(株)、ダイハツ東京販売(株)、トヨタ L&F 東 京(株)、(株)car-channel2621、(株)モトーレン東都、神奈川ダイハツ販売(株)、長野ヤナセ AG (株)、日産東京販売(株)、(株)レソリューション、(株)ホンダカーズ中央神奈川、(株)ウエマツ、 (株)ケーユーホールディングス、(株)ホンダドリームジャパン、(株)日産サティオ湘南、イン プロブ(株)、(株)村内外車センター、いすゞ自動車首都圏(株)、(株)スズキ自販南東京、(株)ホン ダカーズ横浜、昭和自動車工業(株)			
（就職指導内容） 求人情報開示、模擬面接、履歴書添削、個人面談、企業説明会			
（主な学修成果（資格・検定等）） 二級ガソリン自動車整備士、二級ジーゼル自動車整備士、危険物乙四、電気取扱特別教 育、ビジネス能力検定 3.2 級、損害保険募集人試験基礎単位、アーク溶接、ガス溶接、 MOS（Excel, Word）、第二種電気工事士、3 次元 CAD 利用技術者 2 級			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
76 人	2 人	2.6%
（中途退学の主な理由） 病気療養・怪我治療、経済的理由		
（中退防止・中退者支援のための取組） 学級担任と主任／科長による学生個人面談。懇談会・電話・オンライン面談等による 保護者との情報共有。学級担任による指導のほかでは、学生生活における経済面のサポ ートとして学費・奨学金相談窓口、心身をサポートとしてヘルスサポートセンターを 設け個々の学生に適した指導・助言・相談等を行っている。また、休学者にも復学（転 科等）の指導・助言・相談も適時行っている。		

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	日本工学院八王子専門学校
設置者名	学校法人 片柳学園

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名		学科名		専門士		高度専門士	
工業		工科技術専門課程		建築学科				○	
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数		開設している授業の種類					
				講義	演習	実習	実験	実技	
4 年	昼	4, 170 単位時間 / 単位		2, 340 単位時間 / 単位	210 単位時間 / 単位	3, 000 単位時間 / 単位	0 単位時間 / 単位	0 単位時間 / 単位	
				5, 550 単位時間 / 単位					
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生生数	専任教員数		兼任教員数		総教員数	
320 人		236 人	0 人	7 人		19 人		26 人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 様式第2号の3【（3）厳格かつ適切な成績管理の実施及び公表】の1.を参照
成績評価の基準・方法
（概要） 様式第2号の3【（3）厳格かつ適切な成績管理の実施及び公表】の3.を参照
卒業・進級の認定基準
（概要） 様式第2号の3【（3）厳格かつ適切な成績管理の実施及び公表】の2.および4.を参照
学修支援等
（概要） 【個別相談・指導等の対応】欠席者に対しては、当日中に担任から電話・Eメール等で連絡することを基本とし、状況に応じて、数日続いた時点で保護者に連絡するなどの指導をしている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
94 人 (100%)	2 人 (2.1%)	88 人 (93.6%)	4 人 (4.3%)
（主な就職、業界等） 積水ハウス、トランス・コスモス、東鉄工業、日本道路、松井建設、イチケン、大豊建設、FREEDOM、アイディホーム、一建設、アーネストワン、アキュラホーム、あすなろ建築事務所、アルコン、アルモ設計、グローバル BIM			
（就職指導内容） 求人情報共有、業界セミナー、就職模擬試験、合同企業説明会、個別企業説明会、個別面談、履歴書添削、エントリーシート添削、面接練習			
（主な学修成果（資格・検定等）） 二級建築士、二級建築施工管理技士、宅建士、福祉住環境コーディネーター2 級・3 級、商業施設士・補、マンションリフォームマネジャー			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
287 人	6 人	2.1%
（中途退学の主な理由） 一身上の都合 等		
（中退防止・中退者支援のための取組） 学級担任と主任／科長による学生個人面談。懇談会・電話・オンライン面談等による保護者との情報共有。学級担任による指導のほかでは、学生生活における経済面のサポートとして学費・奨学金相談窓口、心身をサポートとしてヘルスサポートセンターを設け個々の学生に適した指導・助言・相談等を行っている。また、休学者にも復学（転科等）の指導・助言・相談も適時行っている。		

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	日本工学院八王子専門学校
設置者名	学校法人 片柳学園

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名		学科名		専門士		高度専門士	
工業		工科技術専門課程		建築設計科		○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数		開設している授業の種類					
				講義	演習	実習	実験	実技	
2 年	昼	1,980 単位時間/単位		825 単位時間/単位	240 単位時間/単位	1,440 単位時間/単位	0 単位時間/単位	0 単位時間/単位	
				2,505 単位時間/単位					
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数		兼任教員数		総教員数	
240 人		161 人	16 人	5 人		14 人		19 人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 様式第2号の3【（3）厳格かつ適切な成績管理の実施及び公表】の1.を参照
成績評価の基準・方法
（概要） 様式第2号の3【（3）厳格かつ適切な成績管理の実施及び公表】の3.を参照
卒業・進級の認定基準
（概要） 様式第2号の3【（3）厳格かつ適切な成績管理の実施及び公表】の2.および4.を参照
学修支援等
（概要） 【個別相談・指導等の対応】欠席者に対しては、当日中に担任から電話・Eメール等で連絡することを基本とし、状況に応じて、数日続いた時点で保護者に連絡するなどの指導をしている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
66 人 (100%)	25 人 (37.9%)	40 人 (60.6%)	1 人 (1.5%)
（主な就職、業界等） 住友不動産、アイディホーム、パナソニック建設エンジニアリング、田中建設、片山組、sai 総合企画、アットキヤド、アルモ設計、イチケン、エクセル、グラン・クリエイト、ライフ設計事務所			
（就職指導内容） 求人情報共有、業界セミナー、就職模擬試験、合同企業説明会、個別企業説明会、個別面談、履歴書添削、エントリーシート添削、面接練習			
（主な学修成果（資格・検定等）） 二級建築士、二級建築施工管理技士、宅建士、福祉住環境コーディネーター2 級・3 級、商業施設士・補、マンションリフォームマネジャー			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
161 人	7 人	4.3%
（中途退学の主な理由） 成績不良、病気療養・怪我治療 等		
（中退防止・中退者支援のための取組） 学級担任と主任／科長による学生個人面談。懇談会・電話・オンライン面談等による保護者との情報共有。学級担任による指導のほかでは、学生生活における経済面のサポートとして学費・奨学金相談窓口、心身をサポートとしてヘルスサポートセンターを設け個々の学生に適した指導・助言・相談等を行っている。また、休学者にも復学（転科等）の指導・助言・相談も適時行っている。		

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	日本工学院八王子専門学校
設置者名	学校法人 片柳学園

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名		専門士		高度専門士	
工業		工科技術専門課程	ロボット科		○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類					
			講義	演習	実習	実験	実技	
2 年	昼	1,710 単位時間 / 単位	780 単位時間 / 単位	0 単位時間 / 単位	1,110 単位時間 / 単位	0 単位時間 / 単位	60 単位時間 / 単位	
			1,950 単位時間 / 単位					
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数		総教員数	
80 人		51 人	5 人	3 人	3 人		6 人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 様式第2号の3【（3）厳格かつ適切な成績管理の実施及び公表】の1.を参照
成績評価の基準・方法
（概要） 様式第2号の3【（3）厳格かつ適切な成績管理の実施及び公表】の3.を参照
卒業・進級の認定基準
（概要） 様式第2号の3【（3）厳格かつ適切な成績管理の実施及び公表】の2.および4.を参照
学修支援等
（概要） 【個別相談・指導等の対応】欠席者に対しては、当日中に担任から電話・Eメール等で連絡することを基本とし、状況に応じて、数日続いた時点で保護者に連絡するなどの指導をしている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
29 人 (100%)	1 人 (3.4%)	28 人 (96.6%)	0 人 (0%)
（主な就職、業界等） ロボット業界：鈴茂器工、三幸社 精密機器：芝浦エレテック、富士航空電子、三幸機械 機械加工：マテリアル、 電子機械；イチコーエンジニアリング アウトソース系：平山、アド・ソアー、ポルックステクノ、プライムエンジニアリング、 公務員・NPO・インフラ系：CDP ジャパン、千葉県（技術職）、あすか創建、国産機械			
（就職指導内容） 求人情報共有、業界セミナー、就職模擬試験、合同企業説明会、個別企業説明会、個別面談、履歴書添削、エントリーシート添削、面接練習			
（主な学修成果（資格・検定等）） 産業用ロボット特別教育（教示等の業務、検査等の業務）、第二種電気工事士、品質管理検定			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
51 人	1 人	2.0%
（中途退学の主な理由） 出席日数不足		
（中退防止・中退者支援のための取組） 学級担任と主任／科長による学生個人面談。懇談会・電話・オンライン面談等による保護者との情報共有。学級担任による指導のほかでは、学生生活における経済面のサポートとして学費・奨学金相談窓口、心身をサポートとしてヘルスサポートセンターを設け個々の学生に適した指導・助言・相談等を行っている。また、休学者にも復学（転科等）の指導・助言・相談も適時行っている。		

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	日本工学院八王子専門学校
設置者名	学校法人 片柳学園

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
工業		工科技術専門課程	応用生物学科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2 年	昼	1,785 単位時間 / 単位	870 単位時間 / 単位	0 単位時間 / 単位	1,110 単位時間 / 単位	0 単位時間 / 単位	0 単位時間 / 単位
			1,980 単位時間 / 単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
80 人		56 人	5 人	2 人	8 人	10 人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 様式第2号の3【（3）厳格かつ適切な成績管理の実施及び公表】の1.を参照
成績評価の基準・方法
（概要） 様式第2号の3【（3）厳格かつ適切な成績管理の実施及び公表】の3.を参照
卒業・進級の認定基準
（概要） 様式第2号の3【（3）厳格かつ適切な成績管理の実施及び公表】の2.および4.を参照
学修支援等
（概要） 【個別相談・指導等の対応】欠席者に対しては、当日中に担任から電話・Eメール等で連絡することを基本とし、状況に応じて、数日続いた時点で保護者に連絡するなどの指導をしている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
22 人 (100%)	3 人 (13.6%)	19 人 (86.4%)	0 人 (0.0%)
（主な就職、業界等） AGC（株）、日鉄鉱業（株）、森永乳業（株）、（株）ペリカン石鹼、JT プラントサービス（株）、横浜森永乳業（株）、（株）コスメナチュラルズ、（株）シーエスラボ、（株）住化分析センター、JA いわて花巻 他			
（就職指導内容） 求人情報共有、業界セミナー、就職模擬試験、合同企業説明会、個別企業説明会、個別面談、履歴書添削、エントリーシート添削、面接練習			
（主な学修成果（資格・検定等）） 中級バイオ技術者認定、品質管理検定 3 級・4 級、有機溶剤作業主任者、特定化学物質・四アルキル鉛等作業主任者、小規模ボイラ取扱者、低圧電気取扱特別教育、ビジネス能力検定ジョブパス 3 級			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
51 人	1 人	2.0%
（中途退学の主な理由） 一身上の都合		
（中退防止・中退者支援のための取組） 学級担任と主任／科長による学生個人面談。懇談会・電話・オンライン面談等による保護者との情報共有。学級担任による指導のほかでは、学生生活における経済面のサポートとして学費・奨学金相談窓口、心身をサポートとしてヘルスサポートセンターを設け個々の学生に適した指導・助言・相談等を行っている。また、休学者にも復学（転科等）の指導・助言・相談も適時行っている。		

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	日本工学院八王子専門学校
設置者名	学校法人 片柳学園

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名		学科名		専門士		高度専門士	
工業		工科技術専門課程		機械設計科		○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数		開設している授業の種類					
				講義	演習	実習	実験	実技	
2 年	昼	1,710 単位時間 / 単位		780 単位時間 / 単位	0 単位時間 / 単位	1,290 単位時間 / 単位	0 単位時間 / 単位	0 単位時間 / 単位	
				2,070 単位時間 / 単位					
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生生数	専任教員数		兼任教員数		総教員数	
80 人		56 人	5 人	4 人		0 人		4 人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 様式第2号の3【（3）厳格かつ適切な成績管理の実施及び公表】の1.を参照
成績評価の基準・方法
（概要） 様式第2号の3【（3）厳格かつ適切な成績管理の実施及び公表】の3.を参照
卒業・進級の認定基準
（概要） 様式第2号の3【（3）厳格かつ適切な成績管理の実施及び公表】の2.および4.を参照
学修支援等
（概要） 【個別相談・指導等の対応】欠席者に対しては、当日中に担任から電話・Eメール等で連絡することを基本とし、状況に応じて、数日続いた時点で保護者に連絡するなどの指導をしている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
25 人 (100%)	1 人 (4.0%)	22 人 (88.0%)	2 人 (8.0%)
（主な就職、業界等） 運輸業界：加藤製作所、ホンダテクノフォート、日野ヒューテック、HKT、 家電・くらし業界：final、SANKA、ナスタ、シチズン TIC インフラ設備業界：電巧社、カジマメカトロエンジニアリング 精密機器業界：ニデックインストルメンツ、日東精密工業、東邦電子、SOLIZE			
（就職指導内容） 求人情報共有、業界セミナー、就職模擬試験、就職模擬面接、合同企業説明会、個別企業説明会、個別面談、履歴書添削、エントリーシート添削、面接練習			
（主な学修成果（資格・検定等）） CAD 利用技術者試験（3 次元 1 級、準 1 級、2 級）、ビジネス能力検定ジョブパス（2 級、3 級）			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
59 人	1 人	1.7%
（中途退学の主な理由） 病気療養・怪我治療		
（中退防止・中退者支援のための取組） 学級担任と主任／科長による学生個人面談。懇談会・電話・オンライン面談等による保護者との情報共有。学級担任による指導のほかでは、学生生活における経済面のサポートとして学費・奨学金相談窓口、心身をサポートとしてヘルスサポートセンターを設け個々の学生に適した指導・助言・相談等を行っている。また、休学者にも復学（転科等）の指導・助言・相談も適時行っている。		

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	日本工学院八王子専門学校
設置者名	学校法人 片柳学園

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
工業		工科技術専門課程	電子・電気科 電子工学コース	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2 年	昼	1,710 単位時間／単位	1,350 単位時間／単位	0 単位時間／単位	840 単位時間／単位	0 単位時間／単位	0 単位時間／単位
			2,190 単位時間／単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
240 人の内数		44 人	2 人	9 人の内数	11 人の内数	20 人の内数	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 様式第2号の3【（3）厳格かつ適切な成績管理の実施及び公表】の1.を参照
成績評価の基準・方法
（概要） 様式第2号の3【（3）厳格かつ適切な成績管理の実施及び公表】の3.を参照
卒業・進級の認定基準
（概要） 様式第2号の3【（3）厳格かつ適切な成績管理の実施及び公表】の2.および4.を参照
学修支援等
（概要） 【個別相談・指導等の対応】欠席者に対しては、当日中に担任から電話・Eメール等で連絡することを基本とし、状況に応じて、数日続いた時点で保護者に連絡するなどの指導をしている。

卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）

卒業者数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
26 人 (100%)	0 人 (0.0%)	26 人 (100%)	0 人 (0.0%)
(主な就職、業界等) セコム(株)、中部電力パワーグリッド(株)、東京地下鉄(株)、パナソニックSSサービス(株)、東名メディック(株)、ジャパンエレベーターサービスホールディングス(株)、(株)マイナビEdge、NECネットワーク・センサ(株)、東邦電子(株)、(株)トップエンジニアリング、独立行政法人 水資源機構、(株)JVC ケンウッド・サービス、アクト・セン(株)、新日本電子(株)、菱神電子エンジニアリング(株)、セントラル電子制御(株)、西尾レントオール(株)、ALSOK 双栄(株)、中日本ハイウェイ・エンジニアリング東京(株)、協立電子(株)、他			
(就職指導内容) 求人情報共有、業界セミナー、就職模擬試験、就職模擬面接、合同企業説明会、個別企業説明会、個別面談、履歴書添削、エントリーシート添削、面接練習			
(主な学修成果(資格・検定等)) 第一級陸上無線技術士、第二級陸上無線技術士、第一級陸上特殊無線技士、第二種電気工事士、乙種第1類危険物取扱者、乙種第2類危険物取扱者、乙種第4類危険物取扱者			
(備考) (任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
47 人	0 人	0.0%
(中途退学の主な理由)		
(中退防止・中退者支援のための取組) 学級担任と主任／科長による学生個人面談。懇談会・電話・オンライン面談等による保護者との情報共有。学級担任による指導のほかでは、学生生活における経済面のサポートとして学費・奨学金相談窓口、心身をサポートとしてヘルスサポートセンターを設け個々の学生に適した指導・助言・相談等を行っている。また、休学者にも復学(転科等)の指導・助言・相談も適時行っている。		

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	日本工学院八王子専門学校
設置者名	学校法人 片柳学園

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
工業		工科技術専門課程	電子・電気科 電気工学コース	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2 年	昼	1,770 単位時間／単位	1,620 単位時間／単位	0 単位時間／単位	660 単位時間／単位	0 単位時間／単位	0 単位時間／単位
			2,280 単位時間／単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
240 人の内数		46 人	3 人	9 人の内数	11 人の内数	20 人の内数	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 様式第2号の3【（3）厳格かつ適切な成績管理の実施及び公表】の1.を参照
成績評価の基準・方法
（概要） 様式第2号の3【（3）厳格かつ適切な成績管理の実施及び公表】の3.を参照
卒業・進級の認定基準
（概要） 様式第2号の3【（3）厳格かつ適切な成績管理の実施及び公表】の2.および4.を参照
学修支援等
（概要） 【個別相談・指導等の対応】欠席者に対しては、当日中に担任から電話・Eメール等で連絡することを基本とし、状況に応じて、数日続いた時点で保護者に連絡するなどの指導をしている。

卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）

卒業者数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
20 人 (100%)	0 人 (0.0%)	19 人 (95.0%)	1 人 (5.0%)
(主な就職、業界等) (株) 東京エネシス、(株) トーエネック、日本電設工業(株)、(株) SUBAR、一般財団法人関東電気保安協会、東京地下鉄(株)、東武エンジニアリング(株)、日本空港テクノ(株)、(株) 京王設備サービス、興和不動産ファシリティーズ(株)、NEC ファシリティーズ(株)、相鉄企業(株)、野村不動産パートナーズ(株)、中日本ハイウェイ・エンジニアリング東京(株)、ANA スカイビルサービス(株)、エス・シー・ビルサービス(株)、他			
(就職指導内容) 求人情報共有、業界セミナー、就職模擬試験、就職模擬面接、合同企業説明会、個別企業説明会、個別面談、履歴書添削、エントリーシート添削、面接練習			
(主な学修成果(資格・検定等)) 第一種電気工事士、第二種電気工事士、第一級陸上特殊無線技士、電気工事施工管理技士、2級ボイラー技士、乙種第1類危険物取扱者、乙種第2類危険物取扱者、乙種第3類危険物取扱者、乙種第4類危険物取扱者、乙種第5類危険物取扱者、乙種第6類危険物取扱者、甲種4類消防設備士、乙種7類消防設備士			
(備考) (任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
50 人	2 人	4.0%
(中途退学の主な理由) 病気療養・怪我治療		
(中退防止・中退者支援のための取組) 学級担任と主任／科長による学生個人面談。懇談会・電話・オンライン面談等による保護者との情報共有。学級担任による指導のほかでは、学生生活における経済面のサポートとして学費・奨学金相談窓口、心身をサポートとしてヘルスサポートセンターを設け個々の学生に適した指導・助言・相談等を行っている。また、休学者にも復学(転科等)の指導・助言・相談も適時行っている。		

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	日本工学院八王子専門学校
設置者名	学校法人 片柳学園

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
工業		工科技術専門課程	電子・電気科 電気工事コース	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2 年	昼	2,010 単位時間／単位	1,260 単位時間／単位	0 単位時間／単位	1,020 単位時間／単位	0 単位時間／単位	0 単位時間／単位
			2,280 単位時間／単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
240 人の内数		50 人	4 人	9 人の内数	11 人の内数	20 人の内数	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 様式第2号の3【（3）厳格かつ適切な成績管理の実施及び公表】の1.を参照
成績評価の基準・方法
（概要） 様式第2号の3【（3）厳格かつ適切な成績管理の実施及び公表】の3.を参照
卒業・進級の認定基準
（概要） 様式第2号の3【（3）厳格かつ適切な成績管理の実施及び公表】の2.および4.を参照
学修支援等
（概要） 【個別相談・指導等の対応】欠席者に対しては、当日中に担任から電話・Eメール等で連絡することを基本とし、状況に応じて、数日続いた時点で保護者に連絡するなどの指導をしている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
20 人 (100%)	0 人 (0.0%)	20 人 (100%)	0 人 (0.0%)
（主な就職、業界等） （株）関電工、日本電設信号工事（株）、日本電設電車線工事（株）、東邦電気工業（株）、旭日電気工業（株）、ミノシマ（株）、スズデン（株）、多摩電気工事（株）、共和エレクトック（株）、関東電設（株）、（株）デイワイ、渡辺電業（株）、東光電気工事（株）、（株）ふじでん、合同電気工事（株）、（株）友伸エンジニアリング、（株）富士急ハイランド、他			
（就職指導内容） 求人情報共有、業界セミナー、就職模擬試験、就職模擬面接、合同企業説明会、個別企業説明会、個別面談、履歴書添削、エントリーシート添削、面接練習			
（主な学修成果（資格・検定等）） 第一種電気工事士、第二種電気工事士、電気工事施工管理技士、乙種 7 類消防設備士、工事担任者第二級デジタル通信			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
50 人	0 人	0.0%
（中途退学の主な理由）		
（中退防止・中退者支援のための取組） 学級担任と主任／科長による学生個人面談。懇談会・電話・オンライン面談等による保護者との情報共有。学級担任による指導のほかでは、学生生活における経済面のサポートとして学費・奨学金相談窓口、心身をサポートとしてヘルスサポートセンターを設け個々の学生に適した指導・助言・相談等を行っている。また、休学者にも復学（転科等）の指導・助言・相談も適時行っている。		

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	日本工学院八王子専門学校
設置者名	学校法人 片柳学園

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
工業		工科技術専門課程	土木・造園科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2 年	昼	1,740 単位時間/単位	795 単位時間/単位	0 単位時間/単位	1,650 単位時間/単位	0 単位時間/単位	0 単位時間/単位
			2,445 単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
80 人		83 人	2 人	2 人	9 人	11 人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 様式第2号の3【（3）厳格かつ適切な成績管理の実施及び公表】の1.を参照
成績評価の基準・方法
（概要） 様式第2号の3【（3）厳格かつ適切な成績管理の実施及び公表】の3.を参照
卒業・進級の認定基準
（概要） 様式第2号の3【（3）厳格かつ適切な成績管理の実施及び公表】の2.および4.を参照
学修支援等
（概要） 【個別相談・指導等の対応】欠席者に対しては、当日中に担任から電話・Eメール等で連絡することを基本とし、状況に応じて、数日続いた時点で保護者に連絡するなどの指導をしている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
33 人 (100%)	0 人 (0.0%)	33 人 (100%)	0 人 (0.0%)
（主な就職、業界等） 日本道路、飛鳥建設、大成ロテック、大豊建設、西尾レントオール、東亜建設工業、大豊建設、徳倉建設、金杉建設、新日本工業、黒須建設、成友興業、巴山建設、東邦建設			
（就職指導内容） 求人情報共有、業界セミナー、就職模擬試験、合同企業説明会、個別企業説明会、個別面談、履歴書添削、エントリーシート添削、面接練習			
（主な学修成果（資格・検定等）） 二級土木施工管理技士、二級造園施工管理技士、3 級造園技能士、2 級造園技能士、高所作業車運転技能講習、小型移動式クレーン運転技能講習、測量士・測量士補、宅地建物取引主任者、車両系建設機械運転技能講習、玉掛け業務技能講習、小型車両系建設機械運転特別教育、高所作業車特別教育			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
78 人	2 人	2.6%
（中途退学の主な理由） 一身上の都合		
（中退防止・中退者支援のための取組） 学級担任と主任／科長による学生個人面談。懇談会・電話・オンライン面談等による保護者との情報共有。学級担任による指導のほかでは、学生生活における経済面のサポートとして学費・奨学金相談窓口、心身をサポートとしてヘルスサポートセンターを設け個々の学生に適した指導・助言・相談等を行っている。また、休学者にも復学（転科等）の指導・助言・相談も適時行っている。		

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	日本工学院八王子専門学校
設置者名	学校法人 片柳学園

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
工業		情報科学専門課程	ゲームクリエイター科四年制 ゲームプログラマーコース		○		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
4 年	昼	3, 420 単位時間 / 単位	1, 020 単位時間 / 単位	0 単位時間 / 単位	2, 520 単位時間 / 単位	0 単位時間 / 単位	0 単位時間 / 単位
			3, 540 単位時間 / 単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
320 人の内数		350 人の内数	3 人の内数	8 人の内数	20 人の内数	28 人の内数	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 様式第2号の3【（3）厳格かつ適切な成績管理の実施及び公表】の1.を参照
成績評価の基準・方法
（概要） 様式第2号の3【（3）厳格かつ適切な成績管理の実施及び公表】の3.を参照
卒業・進級の認定基準
（概要） 様式第2号の3【（3）厳格かつ適切な成績管理の実施及び公表】の2.および4.を参照
学修支援等
（概要） 【個別相談・指導等の対応】欠席者に対しては、当日中に担任から電話・Eメール等で連絡することを基本とし、状況に応じて、数日続いた時点で保護者に連絡するなどの指導をしている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
69 人 (100%)	0 人 (0.0%)	67 人 (97.1%)	2 人 (2.9%)
（主な就職、業界等） 株式会社カプコン、NHN PlayArt 株式会社、株式会社サイバーコネクトツー、株式会社エイティン、株式会社 DONUTS、株式会社グッド・フィール、株式会社ヘッドロック、株式会社トイロジック、株式会社 B.B. スタジオ、株式会社ロケットスタジオ、株式会社アイ・ティー・エル、株式会社タストα、株式会社 BlazeGames、株式会社 Salt and Sugar Studio、株式会社ドリームスレッド、株式会社ブラストエッジゲームズ、株式会社ツーフアイブ、株式会社 HIKE、有限会社エムツー			
（就職指導内容） 業界セミナー、就職模擬試験、就職模擬面接、合同企業説明会、個別企業説明会、個別面談、履歴書添削、応募作品添削、エントリーシート添削、面接練習、入社テスト指導、内定者体験談			
（主な学修成果（資格・検定等）） 情報活用検定（2 級、3 級）、情報システム試験（基本スキル、プログラミングスキル、システムデザインスキル）、基本情報技術者試験、 C 言語プログラミング能力認定試験（2 級、3 級）、CG エンジニア検定ベーシック			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
391 人の内数	7 人の内数	1.8%の内数
（中途退学の主な理由） 病気療養・怪我治療 等		
（中退防止・中退者支援のための取組） 学級担任と主任／科長による学生個人面談。懇談会・電話・オンライン面談等による保護者との情報共有。学級担任による指導のほかでは、学生生活における経済面のサポートとして学費・奨学金相談窓口、心身をサポートとしてヘルスサポートセンターを設け個々の学生に適した指導・助言・相談等を行っている。また、休学者にも復学（転科等）の指導・助言・相談も適時行っている。		

※ 2 年次以降にコース分けを行うため、コース毎での割り当て不可

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	日本工学院八王子専門学校
設置者名	学校法人 片柳学園

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
工業		情報科学専門課程	ゲームクリエイター科四年制 ゲームプランナーコース		○		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
4 年	昼	3, 420 単位時間/単位	1, 140 単位時間/単位	0 単位時間/単位	2, 400 単位時間/単位	0 単位時間/単位	0 単位時間/単位
			3, 540 単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
320 人の内数		350 人の内数	3 人の内数	8 人の内数	20 人の内数	28 人の内数	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 様式第2号の3【（3）厳格かつ適切な成績管理の実施及び公表】の1.を参照
成績評価の基準・方法
（概要） 様式第2号の3【（3）厳格かつ適切な成績管理の実施及び公表】の3.を参照
卒業・進級の認定基準
（概要） 様式第2号の3【（3）厳格かつ適切な成績管理の実施及び公表】の2.および4.を参照
学修支援等
（概要） 【個別相談・指導等の対応】欠席者に対しては、当日中に担任から電話・Eメール等で連絡することを基本とし、状況に応じて、数日続いた時点で保護者に連絡するなどの指導をしている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
26 人 (100%)	0 人 (0.0%)	24 人 (92.3%)	2 人 (7.7%)
（主な就職、業界等） 株式会社バンダイナムコスタジオ、株式会社イリンクス、グランディング株式会社、株式会社アカツキゲームス、株式会社アコードセブン、スーパートリック・ゲームズ株式会社、グリッド株式会社			
（就職指導内容） 業界セミナー、就職模擬試験、就職模擬面接、合同企業説明会、個別企業説明会、個別面談、履歴書添削、応募作品添削、エントリーシート添削、面接練習、入社テスト指導、内定者体験談			
（主な学修成果（資格・検定等）） 情報活用検定（2級、3級） C言語プログラミング能力認定試験（2級、3級）、CGエンジニア検定ベーシック			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
391 人の内数	7 人の内数	1.8%の内数
（中途退学の主な理由） 病気療養・怪我治療 等		
（中退防止・中退者支援のための取組） 学級担任と主任／科長による学生個人面談。懇談会・電話・オンライン面談等による保護者との情報共有。学級担任による指導のほかでは、学生生活における経済面のサポートとして学費・奨学金相談窓口、心身をサポートとしてヘルスサポートセンターを設け個々の学生に適した指導・助言・相談等を行っている。また、休学者にも復学（転科等）の指導・助言・相談も適時行っている。		

※2年次以降にコース分けを行うため、コース毎での割り当て不可

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	日本工学院八王子専門学校
設置者名	学校法人 片柳学園

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
工業		情報科学専門課程	ゲームクリエイター科四年制 ゲームCGデザイナーコース		○		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
4年	昼	3,450 単位時間/単位	960 単位時間 /単位	960 単位時間 /単位	1,650 単位時間 /単位	0 単位時間 /単位	0 単位時間 /単位
			3,570 単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
320 人の内数		350 人の内数	3 人の内数	8 人の内数	20 人の内数	28 人の内数	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 様式第2号の3【（3）厳格かつ適切な成績管理の実施及び公表】の1.を参照
成績評価の基準・方法
（概要） 様式第2号の3【（3）厳格かつ適切な成績管理の実施及び公表】の3.を参照
卒業・進級の認定基準
（概要） 様式第2号の3【（3）厳格かつ適切な成績管理の実施及び公表】の2.および4.を参照
学修支援等
（概要） 【個別相談・指導等の対応】欠席者に対しては、当日中に担任から電話・Eメール等で連絡することを基本とし、状況に応じて、数日続いた時点で保護者に連絡するなどの指導をしている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
12 人 (100%)	0 人 (0.0%)	11 人 (91.7%)	1 人 (8.3%)
（主な就職、業界等） 株式会社フロム・ソフトウェア、株式会社エモリア、株式会社シーピーブロッサム、有限会社オレンジ、株式会社ダンデライオンアニメーションスタジオ、株式会社ジェー・シー・スタッフ、天狗株式会社、株式会社シアン			
（就職指導内容） 業界セミナー、就職模擬試験、就職模擬面接、合同企業説明会、個別企業説明会、個別面談、履歴書添削、応募作品添削、エントリーシート添削、面接練習、入社テスト指導、内定者体験談			
（主な学修成果（資格・検定等）） C G クリエイター検定ベーシック、著作権検定ベーシック、ビジネス能力検定 B 検ジョブパス 3 級			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
391 人の内数	7 人の内数	1.8%の内数
（中途退学の主な理由） 病気療養・怪我治療 等		
（中退防止・中退者支援のための取組） 学級担任と主任／科長による学生個人面談。懇談会・電話・オンライン面談等による保護者との情報共有。学級担任による指導のほかでは、学生生活における経済面のサポートとして学費・奨学金相談窓口、心身をサポートとしてヘルスサポートセンターを設け個々の学生に適した指導・助言・相談等を行っている。また、休学者にも復学（転科等）の指導・助言・相談も適時行っている。		

※ 2 年次以降にコース分けを行うため、コース毎での割り当て不可

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	日本工学院八王子専門学校
設置者名	学校法人 片柳学園

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
工業		情報科学専門課程	ゲームクリエイター科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2 年	昼	1,740 単位時間 / 単位	660 単位時間 / 単位	0 単位時間 / 単位	1,200 単位時間 / 単位	0 単位時間 / 単位	0 単位時間 / 単位
			1, 860 単位時間 / 単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
160 人の内数		113 人の内数	14 人の内数	6 人の内数	20 人の内数	26 人の内数	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 様式第2号の3【（3）厳格かつ適切な成績管理の実施及び公表】の1.を参照
成績評価の基準・方法
（概要） 様式第2号の3【（3）厳格かつ適切な成績管理の実施及び公表】の3.を参照
卒業・進級の認定基準
（概要） 様式第2号の3【（3）厳格かつ適切な成績管理の実施及び公表】の2.および4.を参照
学修支援等
（概要） 【個別相談・指導等の対応】欠席者に対しては、当日中に担任から電話・Eメール等で連絡することを基本とし、状況に応じて、数日続いた時点で保護者に連絡するなどの指導をしている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
0 人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
(主な就職、業界等)			
(就職指導内容)			
(主な学修成果（資格・検定等）)			
(備考)（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
175 人の内数	7 人の内数	4.0%の内数
(中途退学の主な理由) 病気療養・怪我治療、経済的理由 等		
(中退防止・中退者支援のための取組) 学級担任と主任／科長による学生個人面談。懇談会・電話・オンライン面談等による保護者との情報共有。学級担任による指導のほかでは、学生生活における経済面のサポートとして学費・奨学金相談窓口、心身をサポートとしてヘルスサポートセンターを設け個々の学生に適した指導・助言・相談等を行っている。また、休学者にも復学（転科等）の指導・助言・相談も適時行っている。		

※ 2 年次以降にコース分けを行うため、コース毎での割り当て不可

様式第 2 号の 4－②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第 2 号の 4－①を用いること。

学校名	日本工学院八王子専門学校
設置者名	学校法人 片柳学園

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名		専門士	高度専門士	
工業		情報科学専門課程	ゲームクリエイター科 ゲームプログラマーコース		○		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2 年	昼	1,710 単位時間/単位	690 単位時間/単位	0 単位時間/単位	1,080 単位時間/単位	0 単位時間/単位	0 単位時間/単位
			1,770 単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
160 人の内数		113 人の内数	14 人の内数	6 人の内数	20 人の内数	26 人の内数	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 様式第 2 号の 3 【（3）厳格かつ適切な成績管理の実施及び公表】の 1. を参照
成績評価の基準・方法
（概要） 様式第 2 号の 3 【（3）厳格かつ適切な成績管理の実施及び公表】の 3. を参照
卒業・進級の認定基準
（概要） 様式第 2 号の 3 【（3）厳格かつ適切な成績管理の実施及び公表】の 2. および 4. を参照
学修支援等
（概要） 【個別相談・指導等の対応】欠席者に対しては、当日中に担任から電話・Eメール等で連絡することを基本とし、状況に応じて、数日続いた時点で保護者に連絡するなどの指導をしている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
69 人 (100%)	16 人 (23.3%)	49 人 (71.0%)	4 人 (5.8%)
（主な就職、業界等） C G クリエイター検定ベーシック、著作権検定ベーシック、ビジネス能力検定 B 検ジョブパス 3 級			
（就職指導内容） 業界セミナー、就職模擬試験、就職模擬面接、合同企業説明会、個別企業説明会、個別面談、履歴書添削、応募作品添削、エントリーシート添削、面接練習、入社テスト指導、内定者体験談			
（主な学修成果（資格・検定等）） 情報活用検定（2 級、3 級）、情報システム試験（基本スキル、プログラミングスキル、システムデザインスキル）、基本情報技術者試験、 C 言語プログラミング能力認定試験（2 級、3 級）、CG エンジニア検定 3 級			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
175 人の内数	7 人の内数	4.0%の内数
（中途退学の主な理由） 病気療養・怪我治療、経済的理由 等		
（中退防止・中退者支援のための取組） 学級担任と主任／科長による学生個人面談。懇談会・電話・オンライン面談等による保護者との情報共有。学級担任による指導のほかでは、学生生活における経済面のサポートとして学費・奨学金相談窓口、心身をサポートとしてヘルスサポートセンターを設け個々の学生に適した指導・助言・相談等を行っている。また、休学者にも復学（転科等）の指導・助言・相談も適時行っている。		

※ 2 年次以降にコース分けを行うため、コース毎での割り当て不可

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	日本工学院八王子専門学校
設置者名	学校法人 片柳学園

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
工業		情報科学専門課程	ゲームクリエイター科 ゲームプランナーコース	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2 年	昼	1,710 単位時間/単位	690 単位時間/単位	0 単位時間/単位	1,080 単位時間/単位	0 単位時間/単位	0 単位時間/単位
			1,770 単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
160 人の内数		113 人の内数	14 人の内数	6 人の内数	20 人の内数	26 人の内数	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 様式第2号の3【（3）厳格かつ適切な成績管理の実施及び公表】の1.を参照
成績評価の基準・方法
（概要） 様式第2号の3【（3）厳格かつ適切な成績管理の実施及び公表】の3.を参照
卒業・進級の認定基準
（概要） 様式第2号の3【（3）厳格かつ適切な成績管理の実施及び公表】の2.および4.を参照
学修支援等
（概要） 【個別相談・指導等の対応】欠席者に対しては、当日中に担任から電話・Eメール等で連絡することを基本とし、状況に応じて、数日続いた時点で保護者に連絡するなどの指導をしている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
17 人 (100%)	3 人 (17.6%)	12 人 (70.6%)	2 人 (11.8%)
（主な就職、業界等） NHN PlayArt 株式会社、株式会社エイティン、株式会社コヨーテランナー、サクサ株式会社、東洋システム株式会社、カーズ株式会社、株式会社オープンアップ IT エンジニア、株式会社アミアクティブ、株式会社デザインネットワーク、株式会社スタッフサービスエンジニアリング、			
（就職指導内容） 業界セミナー、就職模擬試験、就職模擬面接、合同企業説明会、個別企業説明会、個別面談、履歴書添削、応募作品添削、エントリーシート添削、面接練習、入社テスト指導、内定者体験談			
（主な学修成果（資格・検定等）） 情報活用検定（2 級、3 級） C 言語プログラミング能力認定試験（2 級、3 級）、CG エンジニア検定 3 級			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
175 人の内数	7 人の内数	4.0%の内数
（中途退学の主な理由） 病気療養・怪我治療、経済的理由 等		
（中退防止・中退者支援のための取組） 学級担任と主任／科長による学生個人面談。懇談会・電話・オンライン面談等による保護者との情報共有。学級担任による指導のほかでは、学生生活における経済面のサポートとして学費・奨学金相談窓口、心身をサポートとしてヘルスサポートセンターを設け個々の学生に適した指導・助言・相談等を行っている。また、休学者にも復学（転科等）の指導・助言・相談も適時行っている。		

※2 年次以降にコース分けを行うため、コース毎での割り当て不可

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	日本工学院八王子専門学校
設置者名	学校法人 片柳学園

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
工業		情報科学専門課程	ゲームクリエイター科 ゲームビジネスコース	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2 年	昼	1,710 単位時間/単位	600 単位時間/単位	0 単位時間/単位	1,200 単位時間/単位	0 単位時間/単位	0 単位時間/単位
			1,800 単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
160 人の内数		113 人の内数	14 人の内数	6 人の内数	20 人の内数	26 人の内数	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 様式第2号の3【（3）厳格かつ適切な成績管理の実施及び公表】の1.を参照
成績評価の基準・方法
（概要） 様式第2号の3【（3）厳格かつ適切な成績管理の実施及び公表】の3.を参照
卒業・進級の認定基準
（概要） 様式第2号の3【（3）厳格かつ適切な成績管理の実施及び公表】の2.および4.を参照
学修支援等
（概要） 【個別相談・指導等の対応】欠席者に対しては、当日中に担任から電話・Eメール等で連絡することを基本とし、状況に応じて、数日続いた時点で保護者に連絡するなどの指導をしている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
8 人 (100%)	0 人 (0.0%)	6 人 (75.0%)	2 人 (25.0%)
（主な就職、業界等） 株式会社フェアウェイ、株式会社プロバイドジャパン、世紀港湾株式会社			
（就職指導内容） 業界セミナー、就職模擬試験、就職模擬面接、合同企業説明会、個別企業説明会、個別面談、履歴書添削、応募作品添削、エントリーシート添削、面接練習、入社テスト指導、内定者体験談			
（主な学修成果（資格・検定等）） C 言語プログラミング能力認定試験（2 級、3 級）、CG エンジニア検定 3 級			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
175 人の内数	7 人の内数	4.0%の内数
（中途退学の主な理由） 病気療養・怪我治療、経済的理由 等		
（中退防止・中退者支援のための取組） 学級担任と主任／科長による学生個人面談。懇談会・電話・オンライン面談等による保護者との情報共有。学級担任による指導のほかでは、学生生活における経済面のサポートとして学費・奨学金相談窓口、心身をサポートとしてヘルスサポートセンターを設け個々の学生に適した指導・助言・相談等を行っている。また、休学者にも復学（転科等）の指導・助言・相談も適時行っている。		

※2 年次以降にコース分けを行うため、コース毎での割り当て不可

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	日本工学院八王子専門学校
設置者名	学校法人 片柳学園

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名		学科名		専門士		高度専門士	
工業		情報科学専門課程		C G 映像科		○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数		開設している授業の種類					
				講義	演習	実習	実験	実技	
3 年	昼	2,430 単位時間 / 単位		420 単位時間 / 単位	0 単位時間 / 単位	0 単位時間 / 単位	0 単位時間 / 単位	2,550 単位時間 / 単位	
				2,970 単位時間 / 単位					
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数		専任教員数		兼任教員数		総教員数
240 人		296 人	10 人		9 人		19 人		28 人

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 様式第2号の3【（3）厳格かつ適切な成績管理の実施及び公表】の1.を参照
成績評価の基準・方法
（概要） 様式第2号の3【（3）厳格かつ適切な成績管理の実施及び公表】の3.を参照
卒業・進級の認定基準
（概要） 様式第2号の3【（3）厳格かつ適切な成績管理の実施及び公表】の2.および4.を参照
学修支援等
（概要） 【個別相談・指導等の対応】欠席者に対しては、当日中に担任から電話・Eメール等で連絡することを基本とし、状況に応じて、数日続いた時点で保護者に連絡するなどの指導をしている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
94 人 (100%)	1 人 (1.1%)	86 人 (91.5%)	7 人 (7.4%)
（主な就職、業界等） (株)カプコン、(株)セガ、(株)白組、(株)ボンズ、(株)デジタル・フロンティア、(株)プロダクション・アイジー、(株)アニマ、(株)KASSEN、(有)オレンジ、(株)シンソフィア			
（就職指導内容） 個人面談にて進路指導、企業プレゼン会、ポートフォリオサイト運営、履歴書・ES・作品添削、模擬面接、内定者体験談			
（主な学修成果（資格・検定等）） CG クリエイター検定ベーシック、著作権検定 BASIC			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
302 人	12 人	4.0%
（中途退学の主な理由） 病気療養・怪我治療、一身上の都合 等		
（中退防止・中退者支援のための取組） 学級担任と主任／科長による学生個人面談。懇談会・電話・オンライン面談等による保護者との情報共有。学級担任による指導のほかでは、学生生活における経済面のサポートとして学費・奨学金相談窓口、心身をサポートとしてヘルスサポートセンターを設け個々の学生に適した指導・助言・相談等を行っている。また、休学者にも復学（転科等）の指導・助言・相談も適時行っている。		

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	日本工学院八王子専門学校
設置者名	学校法人 片柳学園

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
工業		情報科学専門課程	ITスペシャリスト科 AI・システム専攻		○		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
4 年	昼	3,480 単位時間/単位	2,265 単位時間/単位	0 単位時間/単位	2,670 単位時間/単位	0 単位時間/単位	0 単位時間/単位
			4,935 単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
320 人の内数		257 人の内数	1 人の内数	8 人の内数	7 人の内数	15 人の内数	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 様式第2号の3【(3) 厳格かつ適切な成績管理の実施及び公表】の1. を参照
成績評価の基準・方法
（概要） 様式第2号の3【(3) 厳格かつ適切な成績管理の実施及び公表】の3. を参照
卒業・進級の認定基準
（概要） 様式第2号の3【(3) 厳格かつ適切な成績管理の実施及び公表】の2. および4. を参照
学修支援等
（概要） 【個別相談・指導等の対応】欠席者に対しては、当日中に担任から電話・Eメール等で連絡することを基本とし、状況に応じて、数日続いた時点で保護者に連絡するなどの指導をしている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
0 人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
(主な就職、業界等)			
(就職指導内容)			
(主な学修成果（資格・検定等）)			
(備考)（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
290 人の内数	7 人の内数	2.4%の内数
(中途退学の主な理由) 病気療養・怪我治療、経済的理由 等		
(中退防止・中退者支援のための取組) 学級担任と主任／科長による学生個人面談。懇談会・電話・オンライン面談等による保護者との情報共有。学級担任による指導のほかでは、学生生活における経済面のサポートとして学費・奨学金相談窓口、心身をサポートとしてヘルスサポートセンターを設け個々の学生に適した指導・助言・相談等を行っている。また、休学者にも復学（転科等）の指導・助言・相談も適時行っている。		

※2年次以降にコース分けを行うため、コース毎での割り当て不可

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	日本工学院八王子専門学校
設置者名	学校法人 片柳学園

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
工業		情報科学専門課程	ＩＴスペシャリスト科 ネットワーク・クラウド専攻		○		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
4 年	昼	3, 450 単位時間／単位	2, 145 単位時間 ／単位	0 単位時間 ／単位	2, 790 単位時間 ／単位	0 単位時間 ／単位	0 単位時間 ／単位
			4, 935 単位時間／単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
320 人の内数		257 人の内数	1 人の内数	8 人の内数	7 人の内数	15 人の内数	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 様式第2号の3【（3）厳格かつ適切な成績管理の実施及び公表】の1.を参照
成績評価の基準・方法
（概要） 様式第2号の3【（3）厳格かつ適切な成績管理の実施及び公表】の3.を参照
卒業・進級の認定基準
（概要） 様式第2号の3【（3）厳格かつ適切な成績管理の実施及び公表】の2.および4.を参照
学修支援等
（概要） 【個別相談・指導等の対応】欠席者に対しては、当日中に担任から電話・Eメール等で連絡することを基本とし、状況に応じて、数日続いた時点で保護者に連絡するなどの指導をしている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
0 人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
(主な就職、業界等)			
(就職指導内容)			
(主な学修成果（資格・検定等）)			
(備考)（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
290 人の内数	7 人の内数	2.4%の内数
(中途退学の主な理由) 病気療養・怪我治療、経済的理由 等		
(中退防止・中退者支援のための取組) 学級担任と主任／科長による学生個人面談。懇談会・電話・オンライン面談等による保護者との情報共有。学級担任による指導のほかでは、学生生活における経済面のサポートとして学費・奨学金相談窓口、心身をサポートとしてヘルスサポートセンターを設け個々の学生に適した指導・助言・相談等を行っている。また、休学者にも復学（転科等）の指導・助言・相談も適時行っている。		

※2年次以降にコース分けを行うため、コース毎での割り当て不可

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	日本工学院八王子専門学校
設置者名	学校法人 片柳学園

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
工業		情報科学専門課程	ITスペシャリスト科 セキュリティ専攻		○		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
4 年	昼	3,510 単位時間/単位	2,145 単位時間/単位	0 単位時間/単位	2,820 単位時間/単位	0 単位時間/単位	0 単位時間/単位
			4,965 単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
320 人の内数		257 人の内数	1 人の内数	8 人の内数	7 人の内数	15 人の内数	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 様式第2号の3【（3）厳格かつ適切な成績管理の実施及び公表】の1.を参照
成績評価の基準・方法
（概要） 様式第2号の3【（3）厳格かつ適切な成績管理の実施及び公表】の3.を参照
卒業・進級の認定基準
（概要） 様式第2号の3【（3）厳格かつ適切な成績管理の実施及び公表】の2.および4.を参照
学修支援等
（概要） 【個別相談・指導等の対応】欠席者に対しては、当日中に担任から電話・Eメール等で連絡することを基本とし、状況に応じて、数日続いた時点で保護者に連絡するなどの指導をしている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
18 人 (100%)	0 人 (0.0%)	18 人 (100%)	0 人 (0.0%)
（主な就職、業界等） AGS 株式会社、NHN テコラス、サービス & セキュリティ株式会社、ディップ株式会社、 トランスコスモス株式会社、ネクストワン、ヤマトシステム開発株式会社、株式会社 KDDI エボルバ、京王 IT ソリューションズ、富士ソフト株式会社、富士通株式会社			
（就職指導内容） 進路指導、履歴書添削、集団模擬面接、就職マナー指導 ES 添削、求人情報共有、企業説明会、自己分析、企業研究、業界セミナー			
（主な学修成果（資格・検定等）） 情報検定 J 検定 2・3 級、ビジネス能力検定 3 級 IT パスポート、情報セキュリティマネジメント、 基本情報技術者試験、応用情報技術者試験、情報安全確保支援士、 CCNA			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
290 人の内数	7 人の内数	2.4%の内数
（中途退学の主な理由） 病気療養・怪我治療、経済的理由 等		
（中退防止・中退者支援のための取組） 学級担任と主任／科長による学生個人面談。懇談会・電話・オンライン面談等による 保護者との情報共有。学級担任による指導のほかでは、学生生活における経済面のサポ ートとして学費・奨学金相談窓口、心身をサポートとしてヘルスサポートセンターを 設け個々の学生に適した指導・助言・相談等を行っている。また、休学者にも復学（転 科等）の指導・助言・相談も適時行っている。		

※ 2 年次以降にコース分けを行うため、コース毎での割り当て不可

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	日本工学院八王子専門学校
設置者名	学校法人 片柳学園

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
工業		情報科学専門課程	ITスペシャリスト科 システム専攻		○		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
4 年	昼	3,510 単位時間/単位	2,385 単位時間/単位	0 単位時間/単位	3,120 単位時間/単位	0 単位時間/単位	0 単位時間/単位
			5,505 単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
320 人の内数		257 人の内数	1 人の内数	8 人の内数	7 人の内数	15 人の内数	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 様式第2号の3【（3）厳格かつ適切な成績管理の実施及び公表】の1.を参照
成績評価の基準・方法
（概要） 様式第2号の3【（3）厳格かつ適切な成績管理の実施及び公表】の3.を参照
卒業・進級の認定基準
（概要） 様式第2号の3【（3）厳格かつ適切な成績管理の実施及び公表】の2.および4.を参照
学修支援等
（概要） 【個別相談・指導等の対応】欠席者に対しては、当日中に担任から電話・Eメール等で連絡することを基本とし、状況に応じて、数日続いた時点で保護者に連絡するなどの指導をしている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
56 人 (100%)	0 人 (0.0%)	56 人 (0.0%)	0 人 (0.0%)
（主な就職、業界等） AGS 株式会社、NHN テコラス、サービス & セキュリティ株式会社、ディップ株式会社、 トランスコスモス株式会社、ネクストワン、ヤマトシステム開発株式会社、株式会社 KDDI エボルバ、京王 IT ソリューションズ、富士ソフト株式会社、富士通株式会社			
（就職指導内容） 進路指導、履歴書添削、集団模擬面接、就職マナー指導 ES 添削、求人情報共有、企業説明会、自己分析、企業研究、業界セミナー			
（主な学修成果（資格・検定等）） 情報検定 J 検定 2・3 級、ビジネス能力検定 3 級 IT パスポート、情報セキュリティマネジメント、 基本情報技術者試験、応用情報技術者試験、 情報安全確保支援士、データベーススペシャリスト LPIC (Linux) レベル 1			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
290 人の内数	7 人の内数	2.4%の内数
（中途退学の主な理由） 病気療養・怪我治療、経済的理由 等		
（中退防止・中退者支援のための取組） 学級担任と主任／科長による学生個人面談。懇談会・電話・オンライン面談等による 保護者との情報共有。学級担任による指導のほかでは、学生生活における経済面のサポ ートとして学費・奨学金相談窓口、心身をサポートとしてヘルスサポートセンターを 設け個々の学生に適した指導・助言・相談等を行っている。また、休学者にも復学（転 科等）の指導・助言・相談も適時行っている。		

※ 2 年次以降にコース分けを行うため、コース毎での割り当て不可

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	日本工学院八王子専門学校
設置者名	学校法人 片柳学園

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
工業		情報科学専門課程	ITスペシャリスト科 モバイルアプリ専攻		○		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
4 年	昼	3,510 単位時間/単位	2,385 単位時間/単位	0 単位時間/単位	3,120 単位時間/単位	0 単位時間/単位	0 単位時間/単位
			5,505 単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
320 人の内数		257 人の内数	1 人の内数	8 人の内数	7 人の内数	15 人の内数	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 様式第2号の3【（3）厳格かつ適切な成績管理の実施及び公表】の1.を参照
成績評価の基準・方法
（概要） 様式第2号の3【（3）厳格かつ適切な成績管理の実施及び公表】の3.を参照
卒業・進級の認定基準
（概要） 様式第2号の3【（3）厳格かつ適切な成績管理の実施及び公表】の2.および4.を参照
学修支援等
（概要） 【個別相談・指導等の対応】欠席者に対しては、当日中に担任から電話・Eメール等で連絡することを基本とし、状況に応じて、数日続いた時点で保護者に連絡するなどの指導をしている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
0 人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
(主な就職、業界等)			
(就職指導内容)			
(主な学修成果（資格・検定等）)			
(備考)（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
290 人の内数	7 人の内数	2.4%の内数
(中途退学の主な理由) 病気療養・怪我治療、経済的理由 等		
(中退防止・中退者支援のための取組) 学級担任と主任／科長による学生個人面談。懇談会・電話・オンライン面談等による保護者との情報共有。学級担任による指導のほかでは、学生生活における経済面のサポートとして学費・奨学金相談窓口、心身をサポートとしてヘルスサポートセンターを設け個々の学生に適した指導・助言・相談等を行っている。また、休学者にも復学（転科等）の指導・助言・相談も適時行っている。		

※ 2 年次以降にコース分けを行うため、コース毎での割り当て不可

様式第 2 号の 4－②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第 2 号の 4－①を用いること。

学校名	日本工学院八王子専門学校
設置者名	学校法人 片柳学園

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
工業		情報科学専門課程	ITスペシャリスト科 ネットワーク専攻		○		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
4 年	昼	3,540 単位時間/単位	2,265 単位時間/単位	0 単位時間/単位	3,270 単位時間/単位	0 単位時間/単位	0 単位時間/単位
			5,535 単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
320 人の内数		257 人の内数	1 人の内数	8 人の内数	7 人の内数	15 人の内数	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 様式第 2 号の 3 【（3）厳格かつ適切な成績管理の実施及び公表】の 1. を参照
成績評価の基準・方法
（概要） 様式第 2 号の 3 【（3）厳格かつ適切な成績管理の実施及び公表】の 3. を参照
卒業・進級の認定基準
（概要） 様式第 2 号の 3 【（3）厳格かつ適切な成績管理の実施及び公表】の 2. および 4. を参照
学修支援等
（概要） 【個別相談・指導等の対応】欠席者に対しては、当日中に担任から電話・Eメール等で連絡することを基本とし、状況に応じて、数日続いた時点で保護者に連絡するなどの指導をしている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
0 人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
(主な就職、業界等)			
(就職指導内容)			
(主な学修成果（資格・検定等）)			
(備考)（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
290 人の内数	7 人の内数	2.4%の内数
(中途退学の主な理由) 病気療養・怪我治療、経済的理由 等		
(中退防止・中退者支援のための取組) 学級担任と主任／科長による学生個人面談。懇談会・電話・オンライン面談等による保護者との情報共有。学級担任による指導のほかでは、学生生活における経済面のサポートとして学費・奨学金相談窓口、心身をサポートとしてヘルスサポートセンターを設け個々の学生に適した指導・助言・相談等を行っている。また、休学者にも復学（転科等）の指導・助言・相談も適時行っている。		

※ 2 年次以降にコース分けを行うため、コース毎での割り当て不可

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	日本工学院八王子専門学校
設置者名	学校法人 片柳学園

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
工業		情報科学専門課程	情報処理科 システム開発コース	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2 年	昼	1,710 単位時間 単位	1,125 単位時間 ／単位	0 単位時間 ／単位	1,530 単位時間 ／単位	0 単位時間 ／単位	0 単位時間 ／単位
			2,655 単位時間 ／単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
320 人の内数		237 人の内数	33 人の内数	9 人の内数	7 人の内数	16 人の内数	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 様式第2号の3【（3）厳格かつ適切な成績管理の実施及び公表】の1.を参照
成績評価の基準・方法
（概要） 様式第2号の3【（3）厳格かつ適切な成績管理の実施及び公表】の3.を参照
卒業・進級の認定基準
（概要） 様式第2号の3【（3）厳格かつ適切な成績管理の実施及び公表】の2.および4.を参照
学修支援等
（概要） 【個別相談・指導等の対応】欠席者に対しては、当日中に担任から電話・Eメール等で連絡することを基本とし、状況に応じて、数日続いた時点で保護者に連絡するなどの指導をしている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
113 人 (100%)	15 人 (13.3%)	92 人 (81.4%)	6 人 (5.3%)
（主な就職、業界等） 西武信用金庫、TDC ソフト株式会社、株式会社 TOKAI ホールディングス、 株式会社システナ、明治安田システムテクノロジー株式会社、 株式会社 KDDI エボルバ、チームラボ株式会社			
（就職指導内容） 進路指導、履歴書添削、集団模擬面接、就職マナー指導 ES 添削、求人情報共有、企業説明会			
（主な学修成果（資格・検定等）） 情報検定 J 検定 2・3 級、ビジネス能力検定 3 級 IT パスポート、基本情報技術者試験、応用情報技術者試験、 LPIC (LinuC) レベル 1			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
324 人の内数	13 人の内数	4.0%の内数
（中途退学の主な理由） 病気療養・怪我治療、経済的理由 等		
（中退防止・中退者支援のための取組） 学級担任と主任／科長による学生個人面談。懇談会・電話・オンライン面談等による 保護者との情報共有。学級担任による指導のほかでは、学生生活における経済面のサポ ートとして学費・奨学金相談窓口、心身をサポートとしてヘルスサポートセンターを 設け個々の学生に適した指導・助言・相談等を行っている。また、休学者にも復学（転 科等）の指導・助言・相談も適時行っている。		

※ 1 年次後期にコース分けを行うため、コース毎での割り当て不可

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	日本工学院八王子専門学校
設置者名	学校法人 片柳学園

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士		高度専門士	
工業		情報科学専門課程	情報処理科 モバイルアプリ開発コース	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2 年	昼	1,710 単位時間 / 単位	1,125 単位時間 / 単位	0 単位時間 / 単位	1,530 単位時間 / 単位	0 単位時間 / 単位	0 単位時間 / 単位
			2,655 単位時間 / 単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数		兼任教員 数	総教員数
320 人の内数		237 人の内数	33 人の内数	9 人の内数		7 人の内数	16 人の内数

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 様式第2号の3【(3) 厳格かつ適切な成績管理の実施及び公表】の1. を参照
成績評価の基準・方法
（概要） 様式第2号の3【(3) 厳格かつ適切な成績管理の実施及び公表】の3. を参照
卒業・進級の認定基準
（概要） 様式第2号の3【(3) 厳格かつ適切な成績管理の実施及び公表】の2. および4. を参照
学修支援等
（概要） 【個別相談・指導等の対応】欠席者に対しては、当日中に担任から電話・Eメール等で連絡することを基本とし、状況に応じて、数日続いた時点で保護者に連絡するなどの指導をしている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
31 人 (100%)	2 人 (6.5%)	25 人 (80.6%)	4 人 (12.9%)
（主な就職、業界等） 西武信用金庫、TDC ソフト株式会社、株式会社 TOKAI ホールディングス、 株式会社システナ、明治安田システムテクノロジー株式会社、 株式会社 KDDI エボルバ、チームラボ株式会社			
（就職指導内容） 進路指導、履歴書添削、集団模擬面接、就職マナー指導 ES 添削、求人情報共有、企業説明会			
（主な学修成果（資格・検定等）） 情報検定 J 検定 2・3 級、ビジネス能力検定 3 級 IT パスポート、基本情報技術者試験、応用情報技術者試験、 CompTIA Cloud Essentials			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
324 人の内数	324 人の内数	324 人の内数
（中途退学の主な理由） 病気療養・怪我治療、経済的理由 等		
（中退防止・中退者支援のための取組） 学級担任と主任／科長による学生個人面談。懇談会・電話・オンライン面談等による 保護者との情報共有。学級担任による指導のほかでは、学生生活における経済面のサポ ートとして学費・奨学金相談窓口、心身をサポートとしてヘルスサポートセンターを 設け個々の学生に適した指導・助言・相談等を行っている。また、休学者にも復学（転 科等）の指導・助言・相談も適時行っている。		

※ 1 年次後期にコース分けを行うため、コース毎での割り当て不可

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	日本工学院八王子専門学校
設置者名	学校法人 片柳学園

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
工業		工科技術専門課程	情報処理科 システム運用コース	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2 年	昼	1,710 単位時間 単位	1,125 単位時間 ／単位	0 単位時間 ／単位	1,530 単位時間 ／単位	0 単位時間 ／単位	0 単位時間 ／単位
			2,655 単位時間 ／単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
320 人の内数		237 人の内数	33 人の内数	9 人の内数	7 人の内数	16 人の内数	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 様式第2号の3【（3）厳格かつ適切な成績管理の実施及び公表】の1.を参照
成績評価の基準・方法
（概要） 様式第2号の3【（3）厳格かつ適切な成績管理の実施及び公表】の3.を参照
卒業・進級の認定基準
（概要） 様式第2号の3【（3）厳格かつ適切な成績管理の実施及び公表】の2.および4.を参照
学修支援等
（概要） 【個別相談・指導等の対応】欠席者に対しては、当日中に担任から電話・Eメール等で連絡することを基本とし、状況に応じて、数日続いた時点で保護者に連絡するなどの指導をしている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
21 人 (100%)	0 人 (0.0%)	20 人 (95.2%)	1 人 (4.8%)
（主な就職、業界等） 西武信用金庫、TDC ソフト株式会社、株式会社 TOKAI ホールディングス、 株式会社システナ、明治安田システムテクノロジー株式会社、 株式会社 KDDI エボルバ、チームラボ株式会社			
（就職指導内容） 進路指導、履歴書添削、集団模擬面接、就職マナー指導 ES 添削、求人情報共有、企業説明会			
（主な学修成果（資格・検定等）） 情報検定 J 検定 2・3 級、ビジネス能力検定 3 級 IT パスポート、基本情報技術者試験、応用情報技術者試験、I TIL ファンデーション、LPIC (LinuC) レベル 1			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
324 人の内数	13 人の内数	4.0%の内数
（中途退学の主な理由） 病気療養・怪我治療、経済的理由 等		
（中退防止・中退者支援のための取組） 学級担任と主任／科長による学生個人面談。懇談会・電話・オンライン面談等による 保護者との情報共有。学級担任による指導のほかでは、学生生活における経済面のサポ ートとして学費・奨学金相談窓口、心身をサポートとしてヘルスサポートセンターを 設け個々の学生に適した指導・助言・相談等を行っている。また、休学者にも復学（転 科等）の指導・助言・相談も適時行っている。		

※ 1 年次後期にコース分けを行うため、コース毎での割り当て不可

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	日本工学院八王子専門学校
設置者名	学校法人 片柳学園

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名		学科名		専門士		高度専門士			
工業		情報科学専門課程		A I システム科		○					
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数		開設している授業の種類							
				講義	演習	実習	実験	実技			
2 年	昼	1, 740 単位時間/単位		1, 125 単位時間 /単位	120 単位時間 /単位	1, 770 単位時間 /単位	0 単位時間 /単位	0 単位時間 /単位			
				3, 015 単位時間/単位							
生徒総定員数		生徒実員		うち留学生数		専任教員数		兼任教員数		総教員数	
160 人		74 人		8 人		4 人		9 人		13 人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 様式第2号の3【（3）厳格かつ適切な成績管理の実施及び公表】の1.を参照
成績評価の基準・方法
（概要） 様式第2号の3【（3）厳格かつ適切な成績管理の実施及び公表】の3.を参照
卒業・進級の認定基準
（概要） 様式第2号の3【（3）厳格かつ適切な成績管理の実施及び公表】の2.および4.を参照
学修支援等
（概要） 【個別相談・指導等の対応】欠席者に対しては、当日中に担任から電話・Eメール等で連絡することを基本とし、状況に応じて、数日続いた時点で保護者に連絡するなどの指導をしている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
64 人 (100%)	8 人 (12.5%)	49 人 (76.6%)	7 人 (10.9%)
（主な就職、業界等） 株式会社パスコ、アイ・エス・ビー株式会社、トッパンエッジ IT ソリューション、株式会社京王 IT ソリューション、クラウドエース株式会社、株式会社エイビット、株式会社ハレックス、Avinton ジャパン株式会社、株式会社 ODN ソリューション、株式会社アヴァンティ、株式会社ワンオールシステム、東京工科大学推薦編入、北見工業大学推薦編入、湘南工科大学推薦編入			
（就職指導内容） 進路指導、履歴書添削、集団模擬面接、就職マナー指導 ES 添削、求人情報共有、企業説明会、自己分析、企業研究、業界セミナー			
（主な学修成果（資格・検定等）） 【学会発表・受賞】 IEEE TOWERS Undergraduate Student Award 受賞、農業施設学会学生・若手の会 優秀賞、情報処理学会全国大会学生セッション発表、電子情報通信学会学生ポスターセッション発表 【資格・検定】 G 検定、IT パスポート			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
102 人	2 人	2.0%
（中途退学の主な理由） 病気療養・怪我治療 等		
（中退防止・中退者支援のための取組） 学級担任と主任／科長による学生個人面談。懇談会・電話・オンライン面談等による保護者との情報共有。学級担任による指導のほかでは、学生生活における経済面のサポートとして学費・奨学金相談窓口、心身をサポートとしてヘルスサポートセンターを設け個々の学生に適した指導・助言・相談等を行っている。また、休学者にも復学（転科等）の指導・助言・相談も適時行っている。		

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	日本工学院八王子専門学校
設置者名	学校法人 片柳学園

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
工業		情報科学専門課程	情報ビジネス科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2 年	昼	1,700 単位時間/単位	975 単位時間/単位	1,410 単位時間/単位	1,260 単位時間/単位	0 単位時間/単位	0 単位時間/単位
			3, 645 単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
80 人		57 人	0 人	2 人	7 人	9 人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 様式第2号の3【（3）厳格かつ適切な成績管理の実施及び公表】の1.を参照
成績評価の基準・方法
（概要） 様式第2号の3【（3）厳格かつ適切な成績管理の実施及び公表】の3.を参照
卒業・進級の認定基準
（概要） 様式第2号の3【（3）厳格かつ適切な成績管理の実施及び公表】の2.および4.を参照
学修支援等
（概要） 【個別相談・指導等の対応】欠席者に対しては、当日中に担任から電話・Eメール等で連絡することを基本とし、状況に応じて、数日続いた時点で保護者に連絡するなどの指導をしている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
30 人 (100%)	1 人 (3.3%)	25 人 (83.3%)	4 人 (13.3%)
（主な就職、業界等） TBC グループ株式会社、西武信用金庫、オーケー株式会社、高尾登山電鉄株式会社、 タクトホーム株式会社、アイディーホーム株式会社、コーセー化粧品販売株式会社			
（就職指導内容） 進路指導、履歴書添削、集団模擬面接、就職マナー指導 ES 添削、求人情報共有、企業説明会			
（主な学修成果（資格・検定等）） 秘書技能検定、サービス接客実務検定、ビジネス文書技能検定、 ビジネス能力検定、MOS、簿記能力検定、FP 検定			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
63 人	5 人	7.9%
（中途退学の主な理由） 病気療養・怪我治療、出席日数不足 等		
（中退防止・中退者支援のための取組） 学級担任と主任／科長による学生個人面談。懇談会・電話・オンライン面談等による 保護者との情報共有。学級担任による指導のほかでは、学生生活における経済面のサポ ートとして学費・奨学金相談窓口、心身をサポートとしてヘルスサポートセンターを 設け個々の学生に適した指導・助言・相談等を行っている。また、休学者にも復学（転 科等）の指導・助言・相談も適時行っている。		

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	日本工学院八王子専門学校
設置者名	学校法人 片柳学園

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
工業		工科技術専門課程	ネットワークセキュリティ科 ネットワーク専攻	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2 年	昼	1, 710 単位時間 / 単位	1, 095 単位時間 / 単位	0 単位時間 / 単位	1, 560 単位時間 / 単位	0 単位時間 / 単位	0 単位時間 / 単位
			2, 655 単位時間 / 単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
80 人の内数		54 人の内数	2 人の内数	2 人の内数	3 人の内数	5 人の内数	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 様式第2号の3【（3）厳格かつ適切な成績管理の実施及び公表】の1.を参照
成績評価の基準・方法
（概要） 様式第2号の3【（3）厳格かつ適切な成績管理の実施及び公表】の3.を参照
卒業・進級の認定基準
（概要） 様式第2号の3【（3）厳格かつ適切な成績管理の実施及び公表】の2.および4.を参照
学修支援等
（概要） 【個別相談・指導等の対応】欠席者に対しては、当日中に担任から電話・Eメール等で連絡することを基本とし、状況に応じて、数日続いた時点で保護者に連絡するなどの指導をしている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
15 人 (100%)	2 人 (13.3%)	13 人 (86.7%)	0 人 (0.0%)
（主な就職、業界等） 株式会社ラック、IIJ エンジニアリング、株式会社サービス&セキュリティ、技研電子株式会社、ジャパニマス株式会社、株式会社ソフタス、株式会社電子工学センター、株式会社共立ソリューションズ			
（就職指導内容） 進路指導、履歴書添削、集団模擬面接、就職マナー指導 ES 添削、求人情報共有、企業説明会、自己分析、企業研究、業界セミナー			
（主な学修成果（資格・検定等）） 情報検定 J 検定 2・3 級、ビジネス能力検定 3 級 IT パスポート、基本情報技術者試験			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
66 人の内数	3 人の内数	4.5%の内数
（中途退学の主な理由） 成績不良 等		
（中退防止・中退者支援のための取組） 学級担任と主任／科長による学生個人面談。懇談会・電話・オンライン面談等による保護者との情報共有。学級担任による指導のほかでは、学生生活における経済面のサポートとして学費・奨学金相談窓口、心身をサポートとしてヘルスサポートセンターを設け個々の学生に適した指導・助言・相談等を行っている。また、休学者にも復学（転科等）の指導・助言・相談も適時行っている。		

※ 2 年次以降にコース分けを行うため、コース毎での割り当て不可

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	日本工学院八王子専門学校
設置者名	学校法人 片柳学園

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
工業		情報技術専門課程	ネットワークセキュリティ科 セキュリティ専攻	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2 年	昼	1,710 単位時間/単位	1,095 単位時間/単位	0 単位時間/単位	1,560 単位時間/単位	0 単位時間/単位	0 単位時間/単位
			2,655 単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
80 人の内数		54 人の内数	2 人の内数	2 人の内数	3 人の内数	5 人の内数	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 様式第2号の3【（3）厳格かつ適切な成績管理の実施及び公表】の1.を参照
成績評価の基準・方法
（概要） 様式第2号の3【（3）厳格かつ適切な成績管理の実施及び公表】の3.を参照
卒業・進級の認定基準
（概要） 様式第2号の3【（3）厳格かつ適切な成績管理の実施及び公表】の2.および4.を参照
学修支援等
（概要） 【個別相談・指導等の対応】欠席者に対しては、当日中に担任から電話・Eメール等で連絡することを基本とし、状況に応じて、数日続いた時点で保護者に連絡するなどの指導をしている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
19 人 (100%)	4 人 (21.1%)	14 人 (73.7%)	1 人 (5.3%)
（主な就職、業界等） 株式会社ラック、IIJ エン지니어リング、株式会社サービス&セキュリティ、技研電子株式会社、ジャパニマス株式会社、株式会社ソフタス、株式会社電子工学センター、株式会社共立ソリューションズ			
（就職指導内容） 進路指導、履歴書添削、集団模擬面接、就職マナー指導 ES 添削、求人情報共有、企業説明会、自己分析、企業研究、業界セミナー			
（主な学修成果（資格・検定等）） 情報検定 J 検定 2・3 級、ビジネス能力検定 3 級 IT パスポート、基本情報技術者試験			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
66 人の内数	3 人の内数	4.5%の内数
（中途退学の主な理由） 成績不良 等		
（中退防止・中退者支援のための取組） 学級担任と主任／科長による学生個人面談。懇談会・電話・オンライン面談等による保護者との情報共有。学級担任による指導のほかでは、学生生活における経済面のサポートとして学費・奨学金相談窓口、心身をサポートとしてヘルスサポートセンターを設け個々の学生に適した指導・助言・相談等を行っている。また、休学者にも復学（転科等）の指導・助言・相談も適時行っている。		
※ 2 年次以降にコース分けを行うため、コース毎での割り当て不可		

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	日本工学院八王子専門学校
設置者名	学校法人 片柳学園

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名		学科名		専門士		高度専門士	
工業		情報科学専門課程		医療事務科		○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数		開設している授業の種類					
				講義	演習	実習	実験	実技	
2 年	昼	1,700 単位時間 / 単位		1,140 単位時間 / 単位	870 単位時間 / 単位	840 単位時間 / 単位	0 単位時間 / 単位	0 単位時間 / 単位	
				2, 850 単位時間 / 単位					
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数		兼任教員数		総教員数	
80 人		33 人	0 人	2 人		9 人		11 人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 様式第2号の3【（3）厳格かつ適切な成績管理の実施及び公表】の1.を参照
成績評価の基準・方法
（概要） 様式第2号の3【（3）厳格かつ適切な成績管理の実施及び公表】の3.を参照
卒業・進級の認定基準
（概要） 様式第2号の3【（3）厳格かつ適切な成績管理の実施及び公表】の2.および4.を参照
学修支援等
（概要） 【個別相談・指導等の対応】欠席者に対しては、当日中に担任から電話・Eメール等で連絡することを基本とし、状況に応じて、数日続いた時点で保護者に連絡するなどの指導をしている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
12 人 (100%)	1 人 (8.3%)	11 人 (91.7%)	0 人 (0.0%)
（主な就職、業界等） 相模原協同病院、総合相模更生病院、相模原赤十字病院、渕野辺総合病院、あきる野台病院、榊原記念病院、めぐみ会、みなみ野循環器病院、平川病院、昭和大学病院、共済会櫻井病院、まろん薬局			
（就職指導内容） 進路指導、履歴書添削、集団模擬面接、就職マナー指導 ES 添削、求人情報共有、企業説明会			
（主な学修成果（資格・検定等）） 診療報酬請求事務能力認定試験、医事コンピュータ技能検定、医療事務技能審査試験、電子カルテ実技検定、医師事務作業補助認定試験、秘書技能検定、サービス接遇実務検定、ビジネス能力検定、MOS			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
36 人	5 人	13.9%
（中途退学の主な理由） 病気療養・怪我治療、出席日数不足 等		
（中退防止・中退者支援のための取組） 学級担任と主任／科長による学生個人面談。懇談会・電話・オンライン面談等による保護者との情報共有。学級担任による指導のほかでは、学生生活における経済面のサポートとして学費・奨学金相談窓口、心身をサポートとしてヘルスサポートセンターを設け個々の学生に適した指導・助言・相談等を行っている。また、休学者にも復学（転科等）の指導・助言・相談も適時行っている。		

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	日本工学院八王子専門学校
設置者名	学校法人 片柳学園

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名		専門士		高度専門士	
文化・教養		芸術専門課程	マンガ・アニメーション科四年制				○	
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数		開設している授業の種類				
				講義	演習	実習	実験	実技
4 年	昼	3, 420 単位時間 / 単位		1, 320 単位時間 / 単位	480 単位時間 / 単位	6, 720 単位時間 / 単位	0 単位時間 / 単位	0 単位時間 / 単位
				8, 520 単位時間 / 単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数		総教員数	
240 人		269 人	0 人	6 人	22 人		28 人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 様式第2号の3【（3）厳格かつ適切な成績管理の実施及び公表】の1.を参照
成績評価の基準・方法
（概要） 様式第2号の3【（3）厳格かつ適切な成績管理の実施及び公表】の3.を参照
卒業・進級の認定基準
（概要） 様式第2号の3【（3）厳格かつ適切な成績管理の実施及び公表】の2.および4.を参照
学修支援等
（概要） 【個別相談・指導等の対応】欠席者に対しては、当日中に担任から電話・Eメール等で連絡することを基本とし、状況に応じて、数日続いた時点で保護者に連絡するなどの指導をしている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
46 人 (100%)	0 人 (0.0%)	35 人 (76.1%)	11 人 (23.9%)
（主な就職、業界等） 東映アニメーション株式会社作画アカデミー、ユーフォーテーブル有限公司、株式会社旭プロダクション、株式会社スタジオサインポスト、株式会社 ジェー・シー・スタッフ、株式会社アスリード、株式会社コンプタウン、コミックスマート株式会社、有限会社クリエイティブハウスポケット、株式会社ホリ			
（就職指導内容） 業界セミナー、就職模擬試験、就職模擬面接、合同企業説明会、個別企業説明会、個別面談、履歴書添削、応募作品添削、エントリーシート添削、面接練習、入社テスト指導、内定者体験談、ポートフォリオサイト登録			
（主な学修成果（資格・検定等）） ビジネス能力検定、色彩検定、各種コンペ入選			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
244 人	9 人	3.7%
（中途退学の主な理由） 病気療養・怪我治療、経済的理由、一身上の都合 等		
（中退防止・中退者支援のための取組） 学級担任と主任／科長による学生個人面談。懇談会・電話・オンライン面談等による保護者との情報共有。学級担任による指導のほかでは、学生生活における経済面のサポートとして学費・奨学金相談窓口、心身をサポートとしてヘルスサポートセンターを設け個々の学生に適した指導・助言・相談等を行っている。また、休学者にも復学（転科等）の指導・助言・相談も適時行っている。		

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	日本工学院八王子専門学校
設置者名	学校法人 片柳学園

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名		学科名		専門士		高度専門士	
文化・教養		芸術専門課程		マンガ・アニメーション科		○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数		開設している授業の種類					
				講義	演習	実習	実験	実技	
2 年	昼	1,740 単位時間 / 単位		840 単位時間 / 単位	300 単位時間 / 単位	3,480 単位時間 / 単位	0 単位時間 / 単位	0 単位時間 / 単位	
				4, 320 単位時間 / 単位					
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数		兼任教員数		総教員数	
240 人		166 人	27 人	6 人		18 人		24 人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 様式第2号の3【（3）厳格かつ適切な成績管理の実施及び公表】の1.を参照
成績評価の基準・方法
（概要） 様式第2号の3【（3）厳格かつ適切な成績管理の実施及び公表】の3.を参照
卒業・進級の認定基準
（概要） 様式第2号の3【（3）厳格かつ適切な成績管理の実施及び公表】の2.および4.を参照
学修支援等
（概要） 【個別相談・指導等の対応】欠席者に対しては、当日中に担任から電話・Eメール等で連絡することを基本とし、状況に応じて、数日続いた時点で保護者に連絡するなどの指導をしている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
100 人 (100%)	5 人 (5.0%)	81 人 (81.0%)	14 人 (14.0%)
（主な就職、業界等） TMS 作画アカデミー、株式会社スタジオリングス、株式会社テディー、株式会社 CLAP、株式会社セカンドゲート、株式会社 OLM、株式会社ベガエンタテインメント、有限会社スタジオ・イースター、株式会社アポロン、株式会社山野紙業、株式会社将士産業、株式会社八王子印刷			
（就職指導内容） 業界セミナー、就職模擬試験、就職模擬面接、合同企業説明会、個別企業説明会、個別面談、履歴書添削、応募作品添削、エントリーシート添削、面接練習、入社テスト指導、内定者体験談、ポートフォリオサイト登録			
（主な学修成果（資格・検定等）） ビジネス能力検定、色彩検定、各種コンペ入選			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
202 人	10 人	5.0%
（中途退学の主な理由） 病気療養・怪我治療、一身上の都合 等		
（中退防止・中退者支援のための取組） 学級担任と主任／科長による学生個人面談。懇談会・電話・オンライン面談等による保護者との情報共有。学級担任による指導のほかでは、学生生活における経済面のサポートとして学費・奨学金相談窓口、心身をサポートとしてヘルスサポートセンターを設け個々の学生に適した指導・助言・相談等を行っている。また、休学者にも復学（転科等）の指導・助言・相談も適時行っている。		

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	日本工学院八王子専門学校
設置者名	学校法人 片柳学園

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名		専門士		高度専門士	
文化・教養		芸術専門課程	放送芸術科		○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数		開設している授業の種類				
				講義	演習	実習	実験	実技
2 年	昼	1,740 単位時間 / 単位		1,380 単位時間 / 単位	0 単位時間 / 単位	1,080 単位時間 / 単位	0 単位時間 / 単位	0 単位時間 / 単位
				2, 460 単位時間 / 単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数		兼任教員数		総教員数
240 人		191 人	0 人	6 人		21 人		27 人

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 様式第2号の3【（3）厳格かつ適切な成績管理の実施及び公表】の1.を参照
成績評価の基準・方法
（概要） 様式第2号の3【（3）厳格かつ適切な成績管理の実施及び公表】の3.を参照
卒業・進級の認定基準
（概要） 様式第2号の3【（3）厳格かつ適切な成績管理の実施及び公表】の2.および4.を参照
学修支援等
（概要） 【個別相談・指導等の対応】欠席者に対しては、当日中に担任から電話・Eメール等で連絡することを基本とし、状況に応じて、数日続いた時点で保護者に連絡するなどの指導をしている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
125 人 (100%)	2 人 (1.6%)	116 人 (92.8%)	7 人 (5.6%)
（主な就職、業界等） 株式会社テイクシステムズ、株式会社日放、株式会社エクサート松崎、株式会社ビーブレーション、株式会社タフゴング、ヌーベルアーージュ株式会社、株式会社 CRAZY TV、株式会社フジアール			
（就職指導内容） 業界セミナー、就職模擬試験、就職模擬面接、合同企業説明会、学内個別企業説明会、個別面談、履歴書添削、応募作品添削、ES 添削、面接練習、入社テスト指導、内定者体験談、求人情報開示			
（主な学修成果（資格・検定等）） 著作権検定 BASIC、ビジネス能力検定B 検ジョブパス 3 級、映像音響処理技術者試験、足場組立て等作業従事者特別講習、JUIDA ドローン認定資格、照明技術者技能検定 2 級、舞台機構調整技能士 3 級			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
231 人	9 人	3.9%
（中途退学の主な理由） 病気療養・怪我治療、経済的理由 等		
（中退防止・中退者支援のための取組） 学級担任と主任／科長による学生個人面談。懇談会・電話・オンライン面談等による保護者との情報共有。学級担任による指導のほかでは、学生生活における経済面のサポートとして学費・奨学金相談窓口、心身をサポートとしてヘルスサポートセンターを設け個々の学生に適した指導・助言・相談等を行っている。また、休学者にも復学（転科等）の指導・助言・相談も適時行っている。		

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	日本工学院八王子専門学校
設置者名	学校法人 片柳学園

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名		専門士		高度専門士	
文化・教養		芸術専門課程	声優・演劇科		○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類					
			講義	演習	実習	実験	実技	
2 年	昼	1,700 単位時間 単位	510 単位時間 ／単位	0 単位時間 ／単位	1,590 単位時間 ／単位	0 単位時間 ／単位	2,170 単位時間 ／単位	
			4,270 単位時間 ／単位					
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数		総教員数	
160 人		127 人	2 人	4 人	24 人		28 人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 様式第2号の3【（3）厳格かつ適切な成績管理の実施及び公表】の1.を参照
成績評価の基準・方法
（概要） 様式第2号の3【（3）厳格かつ適切な成績管理の実施及び公表】の3.を参照
卒業・進級の認定基準
（概要） 様式第2号の3【（3）厳格かつ適切な成績管理の実施及び公表】の2.および4.を参照
学修支援等
（概要） 【個別相談・指導等の対応】欠席者に対しては、当日中に担任から電話・Eメール等で連絡することを基本とし、状況に応じて、数日続いた時点で保護者に連絡するなどの指導をしている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
75 人 (100%)	0 人 (0.0%)	73 人 (97.3%)	2 人 (2.7%)
（主な就職、業界等） 東宝芸能株式会社、ケンユウオフィス、テアトル rui プロダクション、81 プロデュース、青二プロダクション、アトミックモンキー、ステイラック、賢プロダクション、文学座、劇団昴、演劇集団円、スターダス 21Neu、アミティープロモーション、宝映テレビプロダクション			
（就職指導内容） 業界セミナー、学内所属オーディション、学内大型オーディション(合同審査会)就職模擬試験、就職模擬面接、合同企業説明会、学内個別企業説明会、個別面談、履歴書添削、応募作品添削、ES 添削、面接練習、入社テスト指導、内定者体験談、求人情報開示			
（主な学修成果（資格・検定等）） 著作権検定 BASIC、ビジネス能力検定 B 検ジョブパス 3 級			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
153 人	8 人	5.2%
（中途退学の主な理由） 出席日数不足、経済的理由 等		
（中退防止・中退者支援のための取組） 学級担任と主任／科長による学生個人面談。懇談会・電話・オンライン面談等による保護者との情報共有。学級担任による指導のほかでは、学生生活における経済面のサポートとして学費・奨学金相談窓口、心身をサポートとしてヘルスサポートセンターを設け個々の学生に適した指導・助言・相談等を行っている。また、休学者にも復学（転科等）の指導・助言・相談も適時行っている。		

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	日本工学院八王子専門学校
設置者名	学校法人 片柳学園

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名		専門士	高度専門士		
文化・教養		芸術専門課程	コンサート・イベント科		○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数		開設している授業の種類				
				講義	演習	実習	実験	実技
2 年	昼	1,770 単位時間 / 単位		945 単位時間 / 単位	0 単位時間 / 単位	1,680 単位時間 / 単位	0 単位時間 / 単位	0 単位時間 / 単位
				2, 625 単位時間 / 単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数		総教員数	
320 人		263 人	2 人	6 人	32 人		38 人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 様式第2号の3【（3）厳格かつ適切な成績管理の実施及び公表】の1.を参照
成績評価の基準・方法
（概要） 様式第2号の3【（3）厳格かつ適切な成績管理の実施及び公表】の3.を参照
卒業・進級の認定基準
（概要） 様式第2号の3【（3）厳格かつ適切な成績管理の実施及び公表】の2.および4.を参照
学修支援等
（概要） 【個別相談・指導等の対応】欠席者に対しては、当日中に担任から電話・Eメール等で連絡することを基本とし、状況に応じて、数日続いた時点で保護者に連絡するなどの指導をしている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
120 人 (100%)	1 人 (0.8%)	110 人 (91.7%)	9 人 (7.5%)
（主な就職、業界等） 株式会社ホットスタッフ・プロモーション、株式会社パシフィックアートセンター、株式会社 博展、株式会社特効、株式会社共立、株式会社サウンドクルー、株式会社テクニコ、日本ステージ株式会社、劇団ひまわり、株式会社東芸エンタテインメント			
（就職指導内容） 個人面談にて進路指導、履歴書・ES 添削、求人情報開示、模擬面接、音楽系企業セミナー開催			
（主な学修成果（資格・検定等）） 【資格・検定】 3 級舞台機構調整技能検定、ビジネス能力検定ジョブパス 3 級、フォークリフト特別教育、高所作業車特別教育、小型移動式クレーン特別教育、足場の組立て等特別教育			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
252 人	11 人	4.4%
（中途退学の主な理由） 病気療養・怪我治療、経済的理由 等		
（中退防止・中退者支援のための取組） 学級担任と主任／科長による学生個人面談。懇談会・電話・オンライン面談等による保護者との情報共有。学級担任による指導のほかでは、学生生活における経済面のサポートとして学費・奨学金相談窓口、心身をサポートとしてヘルスサポートセンターを設け個々の学生に適した指導・助言・相談等を行っている。また、休学者にも復学（転科等）の指導・助言・相談も適時行っている。		

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	日本工学院八王子専門学校
設置者名	学校法人 片柳学園

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化・教養		芸術専門課程	音響芸術科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2 年	昼	1,710 単位時間 / 単位	1,065 単位時間 / 単位	0 単位時間 / 単位	1,500 単位時間 / 単位	0 単位時間 / 単位	0 単位時間 / 単位
			2,565 単位時間 / 単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
80 人		116 人	2 人	3 人	17 人	20 人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 様式第2号の3【（3）厳格かつ適切な成績管理の実施及び公表】の1.を参照
成績評価の基準・方法
（概要） 様式第2号の3【（3）厳格かつ適切な成績管理の実施及び公表】の3.を参照
卒業・進級の認定基準
（概要） 様式第2号の3【（3）厳格かつ適切な成績管理の実施及び公表】の2.および4.を参照
学修支援等
（概要） 【個別相談・指導等の対応】欠席者に対しては、当日中に担任から電話・Eメール等で連絡することを基本とし、状況に応じて、数日続いた時点で保護者に連絡するなどの指導をしている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
60 人 (100%)	1 人 (1.7%)	55 人 (91.7%)	4 人 (6.7%)
（主な就職、業界等） 株式会社ミディ、株式会社エフエムさがみ、エイベックス株式会社、アオイスタジオ株式会社、有限会社インクルードPD、株式会社 サウンドインスタジオ、株式会社 音響ハウス、株式会社C A I、株式会社神南スタジオ、株式会社リンキィディンク			
（就職指導内容） 個人面談にて進路指導、履歴書・ES 添削、求人情報開示、模擬面接、音楽系企業セミナー開催			
（主な学修成果（資格・検定等）） 【資格・検定】 Avid Pro Tools 技術認定試験、JAPRS Pro Tools 技術認定試験、JAPRS サウンドレコーディング技術認定試験、JPPA 映像音響処理技術認定試験、3 級舞台機構調整技能検定、ビジネス能力検定ジョブパス 3 級			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
124 人	4 人	3.2%
（中途退学の主な理由） 病気療養・怪我治療、経済的理由 等		
（中退防止・中退者支援のための取組） 学級担任と主任／科長による学生個人面談。懇談会・電話・オンライン面談等による保護者との情報共有。学級担任による指導のほかでは、学生生活における経済面のサポートとして学費・奨学金相談窓口、心身をサポートとしてヘルスサポートセンターを設け個々の学生に適した指導・助言・相談等を行っている。また、休学者にも復学（転科等）の指導・助言・相談も適時行っている。		

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	日本工学院八王子専門学校
設置者名	学校法人 片柳学園

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化・教養		芸術専門課程	ミュージックアーティスト科 プレイヤーコース	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2 年	昼	1,710 単位時間 単位	975 単位時間 /単位	0 単位時間 /単位	1,410 単位時間 /単位	0 単位時間 /単位	0 単位時間 /単位
			2,385 単位時間 /単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
80 人の内数		20 人	1 人	3 人の内数	28 人の内数	31 人の内数	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 様式第2号の3【（3）厳格かつ適切な成績管理の実施及び公表】の1.を参照
成績評価の基準・方法
（概要） 様式第2号の3【（3）厳格かつ適切な成績管理の実施及び公表】の3.を参照
卒業・進級の認定基準
（概要） 様式第2号の3【（3）厳格かつ適切な成績管理の実施及び公表】の2.および4.を参照
学修支援等
（概要） 【個別相談・指導等の対応】欠席者に対しては、当日中に担任から電話・Eメール等で連絡することを基本とし、状況に応じて、数日続いた時点で保護者に連絡するなどの指導をしている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
7 人 (100%)	0 人 (0.0%)	5 人 (71.4%)	2 人 (28.6%)
（主な就職、業界等） フォース株式会社、ジェスジェームス立川、Live Music 新宿 SUN FACE			
（就職指導内容） 個人面談にて進路指導、履歴書・ES 添削、求人情報開示、模擬面接、音楽系企業セミナー開催			
（主な学修成果（資格・検定等）） 【資格】 ビジネス能力検定ジョブパス 3 級 【外部コンテスト】 東京国際プロジェクションマッピングアワード			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
19 人	2 人	10.5%
（中途退学の主な理由） 病気療養・怪我治療、経済的理由		
（中退防止・中退者支援のための取組） 学級担任と主任／科長による学生個人面談。懇談会・電話・オンライン面談等による保護者との情報共有。学級担任による指導のほかでは、学生生活における経済面のサポートとして学費・奨学金相談窓口、心身をサポートとしてヘルスサポートセンターを設け個々の学生に適した指導・助言・相談等を行っている。また、休学者にも復学（転科等）の指導・助言・相談も適時行っている。		

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	日本工学院八王子専門学校
設置者名	学校法人 片柳学園

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化・教養		芸術専門課程	ミュージックアーティスト科 ヴォーカリストコース	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2 年	昼	1,710 単位時間 ／単位	975 単位時間 ／単位	0 単位時間 ／単位	1,410 単位時間 ／単位	0 単位時間 ／単位	0 単位時間 ／単位
			2,385 単位時間 ／単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
80 人の内数		30 人	1 人	3 人の内数	28 人の内数	31 人の内数	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 様式第2号の3【（3）厳格かつ適切な成績管理の実施及び公表】の1.を参照
成績評価の基準・方法
（概要） 様式第2号の3【（3）厳格かつ適切な成績管理の実施及び公表】の3.を参照
卒業・進級の認定基準
（概要） 様式第2号の3【（3）厳格かつ適切な成績管理の実施及び公表】の2.および4.を参照
学修支援等
（概要） 【個別相談・指導等の対応】欠席者に対しては、当日中に担任から電話・Eメール等で連絡することを基本とし、状況に応じて、数日続いた時点で保護者に連絡するなどの指導をしている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
17 人 (100%)	0 人 (0.0%)	11 人 (64.7%)	6 人 (35.3%)
（主な就職、業界等） 株式会社サウンドクルー、株式会社愛総合福祉、Evand 株式会社、株式会社エイジェック、電動舎			
（就職指導内容） 個人面談にて進路指導、履歴書・ES 添削、求人情報開示、模擬面接、音楽系企業セミナー開催			
（主な学修成果（資格・検定等）） 【資格】 ビジネス能力検定ジョブパス 3 級 【外部コンテスト】 東京国際プロジェクションマッピングアワード			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
38 人	5 人	13.2%
（中途退学の主な理由） 就職、病気療養・怪我治療 等		
（中退防止・中退者支援のための取組） 学級担任と主任／科長による学生個人面談。懇談会・電話・オンライン面談等による保護者との情報共有。学級担任による指導のほかでは、学生生活における経済面のサポートとして学費・奨学金相談窓口、心身をサポートとしてヘルスサポートセンターを設け個々の学生に適した指導・助言・相談等を行っている。また、休学者にも復学（転科等）の指導・助言・相談も適時行っている。		

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	日本工学院八王子専門学校
設置者名	学校法人 片柳学園

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化・教養		芸術専門課程	ミュージックアーティスト科 サウンドクリエイターコース	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2 年	昼	1,710 単位時間 / 単位	975 単位時間 / 単位	0 単位時間 / 単位	1,410 単位時間 / 単位	0 単位時間 / 単位	0 単位時間 / 単位
			2,385 単位時間 / 単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
80 人の内数		53 人	1 人	3 人の内数	28 人の内数	31 人の内数	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 様式第2号の3【（3）厳格かつ適切な成績管理の実施及び公表】の1.を参照
成績評価の基準・方法
（概要） 様式第2号の3【（3）厳格かつ適切な成績管理の実施及び公表】の3.を参照
卒業・進級の認定基準
（概要） 様式第2号の3【（3）厳格かつ適切な成績管理の実施及び公表】の2.および4.を参照
学修支援等
（概要） 【個別相談・指導等の対応】欠席者に対しては、当日中に担任から電話・Eメール等で連絡することを基本とし、状況に応じて、数日続いた時点で保護者に連絡するなどの指導をしている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
32 人 (100%)	3 人 (9.4%)	20 人 (62.5%)	9 人 (28.1%)
（主な就職、業界等） 株式会社セガ、株式会社サイエッシュ、株式会社 Lync Recordings、株式会社リンクアップ、株式会社フードリム			
（就職指導内容） 個人面談にて進路指導、履歴書・ES 添削、求人情報開示、模擬面接、音楽系企業セミナー開催			
（主な学修成果（資格・検定等）） 【資格】 ビジネス能力検定ジョブパス 3 級 【外部コンテスト】 東京国際プロジェクトマッピングアワード			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
60 人	6 人	10.0%
（中途退学の主な理由） 就職、病気療養・怪我治療		
（中退防止・中退者支援のための取組） 学級担任と主任／科長による学生個人面談。懇談会・電話・オンライン面談等による保護者との情報共有。学級担任による指導のほかでは、学生生活における経済面のサポートとして学費・奨学金相談窓口、心身をサポートとしてヘルスサポートセンターを設け個々の学生に適した指導・助言・相談等を行っている。また、休学者にも復学（転科等）の指導・助言・相談も適時行っている。		

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	日本工学院八王子専門学校
設置者名	学校法人 片柳学園

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名		専門士		高度専門士	
文化・教養		芸術専門課程	スポーツトレーナー科三年制		○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数		開設している授業の種類				
				講義	演習	実習	実験	実技
3 年	昼	2,400 単位時間 / 単位		2,415 単位時間 / 単位	480 単位時間 / 単位	2,760 単位時間 / 単位	0 単位時間 / 単位	780 単位時間 / 単位
				6,435 単位時間 / 単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
160 人		138 人	0 人	2 人	5 人	7 人		

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 様式第2号の3【（3）厳格かつ適切な成績管理の実施及び公表】の1.を参照
成績評価の基準・方法
（概要） 様式第2号の3【（3）厳格かつ適切な成績管理の実施及び公表】の3.を参照
卒業・進級の認定基準
（概要） 様式第2号の3【（3）厳格かつ適切な成績管理の実施及び公表】の2.および4.を参照
学修支援等
（概要） 【個別相談・指導等の対応】欠席者に対しては、当日中に担任から電話・Eメール等で連絡することを基本とし、状況に応じて、数日続いた時点で保護者に連絡するなどの指導をしている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
77 人 (100%)	5 人 (6.5%)	71 人 (92.2%)	1 人 (1.3%)
（主な就職、業界等） （株）セントラルスポーツ （株）RAIZAP （株）nobitel（株）ファクトリージャパン（株）フュービック （株）ベアハグ（株）LAVA （株）ミズノスポーツサービス （株）東京ドームスポーツ （有）レジスタ FCトリプレッタ （株）REXIVA p p l e GYM（株）セサミ （株）ASA KA			
（就職指導内容） 求人情報共有、業界セミナー、就職模擬試験、合同企業説明会、個別企業説明会、個別面談、履歴書添削、エントリーシート添削、面接練習			
（主な学修成果（資格・検定等）） JSP0-AT、NSCA-CPT、JATI-ATI、健康運動実践指導者、ストレッチングトレーナー、日赤救急法救急員、コンディショニングインストラクター、ビジネス能力検定ジョブパス 3 級、幼児体育指導員、メディカルフィットネストレーナー			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
162 人	4 人	2.5%
（中途退学の主な理由） 成績不良、一身上の都合 等		
（中退防止・中退者支援のための取組） 学級担任と主任／科長による学生個人面談。懇談会・電話・オンライン面談等による保護者との情報共有。学級担任による指導のほかでは、学生生活における経済面のサポートとして学費・奨学金相談窓口、心身をサポートとしてヘルスサポートセンターを設け個々の学生に適した指導・助言・相談等を行っている。また、休学者にも復学（転科等）の指導・助言・相談も適時行っている。		

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	日本工学院八王子専門学校
設置者名	学校法人 片柳学園

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化・教養		芸術専門課程	スポーツ健康学科三年制 サッカーコース	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な 総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3 年	昼	2,470 単位時間／単位	450 単位時間／単位	330 単位時間／単位	1,800 単位時間／単位	0 単位時間／単位	2,430 単位時間／単位
			5,010 単位時間／単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
120 人の内数		57 人	1 人	6 人の内数	32 人の内数	38 人の内数	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 様式第2号の3【（3）厳格かつ適切な成績管理の実施及び公表】の1.を参照
成績評価の基準・方法
（概要） 様式第2号の3【（3）厳格かつ適切な成績管理の実施及び公表】の3.を参照
卒業・進級の認定基準
（概要） 様式第2号の3【（3）厳格かつ適切な成績管理の実施及び公表】の2.および4.を参照
学修支援等
（概要） 【個別相談・指導等の対応】欠席者に対しては、当日中に担任から電話・Eメール等で連絡することを基本とし、状況に応じて、数日続いた時点で保護者に連絡するなどの指導をしている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
25 人 (100%)	0 人 (0.0%)	24 人 (96.0%)	1 人 (4.0%)
（主な就職、業界等） (有)セイントフット 栃木シティ SC ザスパ草津チャレンジャーズ SS 伊豆 横浜マリノス(株) SC 相模原 東京都サッカー協会 NOSSA 八王子 VONDS 市原 SC 鹿島アントラーズ 東急SレイエスFC 一般社団法人Fマリノススポーツクラブ			
（就職指導内容） 求人情報共有、業界セミナー、就職模擬試験、合同企業説明会、個別企業説明会、個別 面談、履歴書添削、エントリーシート添削、面接練習			
（主な学修成果（資格・検定等）） サッカーC・D級コーチ、サッカー審判員3・4級、 幼児体育指導員、MOS 検定、ビジネス能力検定ジョブパス3級			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
71 人	8 人	11.3%
（中途退学の主な理由） 一身上の都合、進路変更 等		
（中退防止・中退者支援のための取組） 学級担任と主任／科長による学生個人面談。懇談会・電話・オンライン面談等による 保護者との情報共有。学級担任による指導のほかでは、学生生活における経済面のサポ ートとして学費・奨学金相談窓口、心身をサポートとしてヘルスサポートセンターを 設け個々の学生に適した指導・助言・相談等を行っている。また、休学者にも復学（転 科等）の指導・助言・相談も適時行っている。		

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	日本工学院八王子専門学校
設置者名	学校法人 片柳学園

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化・教養		芸術専門課程	スポーツ健康学科三年制 テニスコース	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な 総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3 年	昼	2,440 単位時間／単位	675 単位時間／単位	1,950 単位時間／単位	1,710 単位時間／単位	0 単位時間／単位	300 単位時間／単位
			4, 635 単位時間／単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
120 人の内数		24 人	0 人	6 人の内数	32 人の内数	38 人の内数	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 様式第2号の3【（3）厳格かつ適切な成績管理の実施及び公表】の1.を参照
成績評価の基準・方法
（概要） 様式第2号の3【（3）厳格かつ適切な成績管理の実施及び公表】の3.を参照
卒業・進級の認定基準
（概要） 様式第2号の3【（3）厳格かつ適切な成績管理の実施及び公表】の2.および4.を参照
学修支援等
（概要） 【個別相談・指導等の対応】欠席者に対しては、当日中に担任から電話・Eメール等で連絡することを基本とし、状況に応じて、数日続いた時点で保護者に連絡するなどの指導をしている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
9 人 (100%)	0 人 (0.0%)	9 人 (100%)	0 人 (0.0%)
（主な就職、業界等） (株)テニスユニバース、ノアインドアステージ(株)、(株)ニッケインドアテニス、中山産業(株)、 ウインザー商事(株)、品川プリンスホテル、アーバンリゾーツ昭和の森、ゼストテニスクラブ、			
（就職指導内容） 求人情報共有、業界セミナー、就職模擬試験、合同企業説明会、個別企業説明会、個別 面談、履歴書添削、エントリーシート添削、面接練習			
（主な学修成果（資格・検定等）） テニス教師、テニスコーチ1・2、テニスC級審判員、ビジネス能力検定ジョブパス3級			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
25 人	2 人	8.0%
（中途退学の主な理由） 一身上の都合 等		
（中退防止・中退者支援のための取組） 学級担任と主任／科長による学生個人面談。懇談会・電話・オンライン面談等による 保護者との情報共有。学級担任による指導のほかでは、学生生活における経済面のサポ ートとして学費・奨学金相談窓口、心身をサポートとしてヘルスサポートセンターを 設け個々の学生に適した指導・助言・相談等を行っている。また、休学者にも復学（転 科等）の指導・助言・相談も適時行っている。		

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	日本工学院八王子専門学校
設置者名	学校法人 片柳学園

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化・教養		芸術専門課程	スポーツ健康学科三年制 スポーツインストラクターコース	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3 年	昼	2,410 単位時間 ／単位	1,185 単位時間 ／単位	480 単位時間 ／単位	1,965 単位時間 ／単位	0 単位時間 ／単位	1,845 単位時間 ／単位
			5,475 単位時間 ／単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
120 人の内数		19 人	0 人	6 人の内数	32 人の内数	38 人の内数	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 様式第2号の3【（3）厳格かつ適切な成績管理の実施及び公表】の1.を参照
成績評価の基準・方法
（概要） 様式第2号の3【（3）厳格かつ適切な成績管理の実施及び公表】の3.を参照
卒業・進級の認定基準
（概要） 様式第2号の3【（3）厳格かつ適切な成績管理の実施及び公表】の2.および4.を参照
学修支援等
（概要） 【個別相談・指導等の対応】欠席者に対しては、当日中に担任から電話・Eメール等で連絡することを基本とし、状況に応じて、数日続いた時点で保護者に連絡するなどの指導をしている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
15 人 (100%)	0 人 (0.0%)	15 人 (100%)	0 人 (0.0%)
（主な就職、業界等） JR 東日本スポーツ(株)、(株)メガロス、(株)セントラルスポーツ、(株)東急スポーツシステム、 ホテルニューオータニ、ホリデイスポーツクラブ、アスリエスポーツクラブ、カーブス、 コスモスポーツクラブ、リトルジャンボスポーツクラブ、東京マリンスポーツセンター、 舞子リゾート、ディグリゾート 45、シェラトン都ホテル東京			
（就職指導内容） 求人情報共有、業界セミナー、就職模擬試験、合同企業説明会、個別企業説明会、個別 面談、履歴書添削、エントリーシート添削、面接練習			
（主な学修成果（資格・検定等）） 健康運動実践指導者、日本赤十字社救急法救急員、ビジネス能力検定 3 級、JATI-ATI、 オープンウォーターダイバー、水泳コーチ 1、ジュニアスポーツ指導員、幼児体育指導 員、メディカルフィットネストレーナー			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
28 人	0 人	0%
（中途退学の主な理由）		
（中退防止・中退者支援のための取組） 学級担任と主任／科長による学生個人面談。懇談会・電話・オンライン面談等による 保護者との情報共有。学級担任による指導のほかでは、学生生活における経済面のサポ ートとして学費・奨学金相談窓口、心身をサポートとしてヘルスサポートセンターを 設け個々の学生に適した指導・助言・相談等を行っている。また、休学者にも復学（転 科等）の指導・助言・相談も適時行っている。		

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	日本工学院八王子専門学校
設置者名	学校法人 片柳学園

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化・教養		芸術専門課程	スポーツ健康学科三年制 スポーツビジネスコース	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な 総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3 年	昼	2,400 単位時間/単位	1,950 単位時間/単位	180 単位時間/単位	1,290 単位時間/単位	0 単位時間/単位	750 単位時間/単位
			4,170 単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
120 人の内数		25 人	0 人	6 人の内数	32 人の内数	38 人の内数	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 様式第2号の3【（3）厳格かつ適切な成績管理の実施及び公表】の1.を参照
成績評価の基準・方法
（概要） 様式第2号の3【（3）厳格かつ適切な成績管理の実施及び公表】の3.を参照
卒業・進級の認定基準
（概要） 様式第2号の3【（3）厳格かつ適切な成績管理の実施及び公表】の2.および4.を参照
学修支援等
（概要） 【個別相談・指導等の対応】欠席者に対しては、当日中に担任から電話・Eメール等で連絡することを基本とし、状況に応じて、数日続いた時点で保護者に連絡するなどの指導をしている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
20 人 (100%)	0 人 (0.0%)	20 人 (100%)	0 人 (0.0%)
（主な就職、業界等） ゼビオ㈱、ABCMART、㈱シミズオクト、ミズノスポーツサービス、STEPJAPAN、Birth47、Fosbury、LACOSTE、横浜市スポーツ協会			
（就職指導内容） 求人情報共有、業界セミナー、就職模擬試験、合同企業説明会、個別企業説明会、個別面談、履歴書添削、エントリーシート添削、面接練習			
（主な学修成果（資格・検定等）） スポーツイベント検定、販売士検定、国内旅行業務取扱管理者、日商簿記検定 3 級、MOS 検定、ビジネス能力検定ジョブパス 3 級			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
39 人	4 人	10.3%
（中途退学の主な理由） 出席日数不足 等		
（中退防止・中退者支援のための取組） 学級担任と主任／科長による学生個人面談。懇談会・電話・オンライン面談等による保護者との情報共有。学級担任による指導のほかでは、学生生活における経済面のサポートとして学費・奨学金相談窓口、心身をサポートとしてヘルスサポートセンターを設け個々の学生に適した指導・助言・相談等を行っている。また、休学者にも復学（転科等）の指導・助言・相談も適時行っている。		

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	日本工学院八王子専門学校
設置者名	学校法人 片柳学園

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化・教養		芸術専門課程	スポーツ健康学科 サッカーコース	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な 総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2 年	昼	1,700 単位時間／単位	240 単位時間／単位	270 単位時間／単位	1,485 単位時間／単位	0 単位時間／単位	1,770 単位時間／単位
			3,765 単位時間／単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
80 人の内数		31 人	0 人	4 人の内数	32 人の内数	36 人の内数	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 様式第2号の3【（3）厳格かつ適切な成績管理の実施及び公表】の1.を参照
成績評価の基準・方法
（概要） 様式第2号の3【（3）厳格かつ適切な成績管理の実施及び公表】の3.を参照
卒業・進級の認定基準
（概要） 様式第2号の3【（3）厳格かつ適切な成績管理の実施及び公表】の2.および4.を参照
学修支援等
（概要） 【個別相談・指導等の対応】欠席者に対しては、当日中に担任から電話・Eメール等で連絡することを基本とし、状況に応じて、数日続いた時点で保護者に連絡するなどの指導をしている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
25 人 (100%)	2 人 (8.0%)	16 人 (64.0%)	7 人 (28.0%)
（主な就職、業界等） (有)セイントフット 栃木シティ SC ザスパ草津チャレンジャーズ SS 伊豆 横浜マリノス(株) SC 相模原 東京都サッカー協会 NOSSA 八王子 VONDS 市原 SC 鹿島アントラーズ 東急SレイエスFC 一般社団法人Fマリノススポーツクラブ			
（就職指導内容） 求人情報共有、業界セミナー、就職模擬試験、合同企業説明会、個別企業説明会、個別 面談、履歴書添削、エントリーシート添削、面接練習			
（主な学修成果（資格・検定等）） サッカーC・D級コーチ、サッカー審判員3・4級、 幼児体育指導員、MOS 検定、ビジネス能力検定ジョブパス3級			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
44 人	2 人	4.5%
（中途退学の主な理由） 出席日数不足		
（中退防止・中退者支援のための取組） 学級担任と主任／科長による学生個人面談。懇談会・電話・オンライン面談等による 保護者との情報共有。学級担任による指導のほかでは、学生生活における経済面のサポ ートとして学費・奨学金相談窓口、心身をサポートとしてヘルスサポートセンターを 設け個々の学生に適した指導・助言・相談を行っている。また、休学者にも復学（転 科等）の指導・助言・相談も適時行っている。		

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	日本工学院八王子専門学校
設置者名	学校法人 片柳学園

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化・教養		芸術専門課程	スポーツ健康学科 テニスコース	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な 総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2 年	昼	1,700 単位時間／単位	375 単位時間 ／単位	1,440 単位時間 ／単位	1,290 単位時間 ／単位	0 単位時間 ／単位	300 単位時間 ／単位
			3,405 単位時間／単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
80 人の内数		6 人	0 人	4 人の内数	32 人の内数	36 人の内数	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 様式第2号の3【（3）厳格かつ適切な成績管理の実施及び公表】の1.を参照
成績評価の基準・方法
（概要） 様式第2号の3【（3）厳格かつ適切な成績管理の実施及び公表】の3.を参照
卒業・進級の認定基準
（概要） 様式第2号の3【（3）厳格かつ適切な成績管理の実施及び公表】の2.および4.を参照
学修支援等
（概要） 【個別相談・指導等の対応】欠席者に対しては、当日中に担任から電話・Eメール等で連絡することを基本とし、状況に応じて、数日続いた時点で保護者に連絡するなどの指導をしている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
3 人 (100%)	0 人 (0.0%)	3 人 (100%)	0 人 (0%)
（主な就職、業界等） (株)テニスユニバース、ノアインドアステージ(株)、(株)ニッケインドアテニス、中山産業(株)、 ウインザー商事(株)、高木工業株スポーツ事業本部、南町田インターナショナルテニスカ レッジ			
（就職指導内容） 求人情報共有、業界セミナー、就職模擬試験、合同企業説明会、個別企業説明会、個別 面談、履歴書添削、エントリーシート添削、面接練習			
（主な学修成果（資格・検定等）） テニス教師、テニスコーチ1・2、テニスC級審判員、ビジネス能力検定ジョブパス3級			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
9 人	2 人	22.2%
（中途退学の主な理由） 病気療養・怪我治療、出席日数不足		
（中退防止・中退者支援のための取組） 学級担任と主任／科長による学生個人面談。懇談会・電話・オンライン面談等による 保護者との情報共有。学級担任による指導のほかでは、学生生活における経済面のサポ ートとして学費・奨学金相談窓口、心身をサポートとしてヘルスサポートセンターを 設け個々の学生に適した指導・助言・相談等を行っている。また、休学者にも復学（転 科等）の指導・助言・相談も適時行っている。		

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	日本工学院八王子専門学校
設置者名	学校法人 片柳学園

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化・教養		芸術専門課程	スポーツ健康学科 スポーツインストラクターコース	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2 年	昼	1,700 単位時間/単位	825 単位時間/単位	300 単位時間/単位	1,275 単位時間/単位	0 単位時間/単位	1,185 単位時間/単位
			3,585 単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
80 人の内数		19 人	0 人	4 人の内数	32 人の内数	36 人の内数	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 様式第2号の3【（3）厳格かつ適切な成績管理の実施及び公表】の1.を参照
成績評価の基準・方法
（概要） 様式第2号の3【（3）厳格かつ適切な成績管理の実施及び公表】の3.を参照
卒業・進級の認定基準
（概要） 様式第2号の3【（3）厳格かつ適切な成績管理の実施及び公表】の2.および4.を参照
学修支援等
（概要） 【個別相談・指導等の対応】欠席者に対しては、当日中に担任から電話・Eメール等で連絡することを基本とし、状況に応じて、数日続いた時点で保護者に連絡するなどの指導をしている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
10 人 (100%)	0 人 (0.0%)	9 人 (90.0%)	1 人 (10.0%)
（主な就職、業界等） JR 東日本スポーツ(株)、(株)メガロス、(株)セントラルスポーツ、(株)東急スポーツシステム、 ホテルニューオータニ、ホリデイスportクラブ、アスリエスポーツクラブ、カーブス、 コスモスポーツクラブ、リトルジャンボスポーツクラブ			
（就職指導内容） 求人情報共有、業界セミナー、就職模擬試験、合同企業説明会、個別企業説明会、個別 面談、履歴書添削、エントリーシート添削、面接練習			
（主な学修成果（資格・検定等）） 健康運動実践指導者、日本赤十字社救急法救急員、ビジネス能力検定ジョブパス 3 級、 JATI-ATI、オープンウォーターダイバー、水泳コーチ 1、ジュニアスポーツ指導員、幼 児体育指導員			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
19 人	0 人	0.0%
（中途退学の主な理由）		
（中退防止・中退者支援のための取組） 学級担任と主任／科長による学生個人面談。懇談会・電話・オンライン面談等による 保護者との情報共有。学級担任による指導のほかでは、学生生活における経済面のサポ ートとして学費・奨学金相談窓口、心身をサポートとしてヘルスサポートセンターを 設け個々の学生に適した指導・助言・相談等を行っている。また、休学者にも復学（転 科等）の指導・助言・相談も適時行っている。		

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	日本工学院八王子専門学校
設置者名	学校法人 片柳学園

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化・教養		芸術専門課程	スポーツ健康学科 スポーツビジネスコース	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な 総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2 年	昼	1,700 単位時間 ／単位	1,380 単位時間 ／単位	120 単位時間 ／単位	900 単位時間 ／単位	0 単位時間 ／単位	525 単位時間 ／単位
			2,925 単位時間 ／単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
80 人の内数		26 人	0 人	4 人の内数	32 人の内数	36 人の内数	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 様式第2号の3【（3）厳格かつ適切な成績管理の実施及び公表】の1.を参照
成績評価の基準・方法
（概要） 様式第2号の3【（3）厳格かつ適切な成績管理の実施及び公表】の3.を参照
卒業・進級の認定基準
（概要） 様式第2号の3【（3）厳格かつ適切な成績管理の実施及び公表】の2.および4.を参照
学修支援等
（概要） 【個別相談・指導等の対応】欠席者に対しては、当日中に担任から電話・Eメール等で連絡することを基本とし、状況に応じて、数日続いた時点で保護者に連絡するなどの指導をしている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
16 人 (100%)	0 人 (0.0%)	15 人 (93.8%)	1 人 (6.3%)
（主な就職、業界等） ゼビオ(株)、ABCMART、(株)シミズオクト、ミズノスポーツサービス、STEPJAPAN、Birth47、Fosbury、columbia、MP&C			
（就職指導内容） 求人情報共有、業界セミナー、就職模擬試験、合同企業説明会、個別企業説明会、個別面談、履歴書添削、エントリーシート添削、面接練習			
（主な学修成果（資格・検定等）） スポーツイベント検定、販売士検定、国内旅行業務取扱管理者、日商簿記検定 3 級、MOS 検定、ビジネス能力検定ジョブパス 3 級			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
33 人	2 人	6.1%
（中途退学の主な理由） 一身上の都合 等		
（中退防止・中退者支援のための取組） 学級担任と主任／科長による学生個人面談。懇談会・電話・オンライン面談等による保護者との情報共有。学級担任による指導のほかでは、学生生活における経済面のサポートとして学費・奨学金相談窓口、心身をサポートとしてヘルスサポートセンターを設け個々の学生に適した指導・助言・相談等を行っている。また、休学者にも復学（転科等）の指導・助言・相談も適時行っている。		

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	日本工学院八王子専門学校
設置者名	学校法人 片柳学園

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名		専門士		高度専門士	
文化・教養		芸術専門課程	スポーツトレーナー科		○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類					
			講義	演習	実習	実験	実技	
2 年	昼	1,700 単位時間 ／単位	1,605 単位時間 ／単位	360 単位時間 ／単位	1,830 単位時間 ／単位	0 単位時間 ／単位	540 単位時間 ／単位	
			4,335 単位時間 ／単位					
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数		総教員数	
80 人の内数		93 人	0 人	2 人	5 人		7 人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 様式第2号の3【（3）厳格かつ適切な成績管理の実施及び公表】の1.を参照
成績評価の基準・方法
（概要） 様式第2号の3【（3）厳格かつ適切な成績管理の実施及び公表】の3.を参照
卒業・進級の認定基準
（概要） 様式第2号の3【（3）厳格かつ適切な成績管理の実施及び公表】の2.および4.を参照
学修支援等
（概要） 【個別相談・指導等の対応】欠席者に対しては、当日中に担任から電話・Eメール等で連絡することを基本とし、状況に応じて、数日続いた時点で保護者に連絡するなどの指導をしている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
24 人 (100%)	2 人 (8.3%)	21 人 (87.5%)	1 人 (4.2%)
（主な就職、業界等） クレディ・テック（株） （株）B-S T （株）BEYOND （株）リラックス （株）I L U T Y （株）N-Group （株）BODY Run Alive soul （株）グッドウエーブ （株） RAIZAP （株）ファクトリージャパン			
（就職指導内容） 求人情報共有、業界セミナー、就職模擬試験、合同企業説明会、個別企業説明会、個別 面談、履歴書添削、エントリーシート添削、面接練習			
（主な学修成果（資格・検定等）） JSPO-AT、NSCA-CPT、JATI-ATI、健康運動実践指導者、ストレッチングトレーナー、日赤 救急法救急員、コンディショニングインストラクター、ビジネス能力検定ジョブパス 3 級、幼児体育指導員			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
77 人	5 人	6.5%
（中途退学の主な理由） 病気療養・怪我治療 等		
（中退防止・中退者支援のための取組） 学級担任と主任／科長による学生個人面談。懇談会・電話・オンライン面談等による 保護者との情報共有。学級担任による指導のほかでは、学生生活における経済面のサポ ートとして学費・奨学金相談窓口、心身をサポートとしてヘルスサポートセンターを 設け個々の学生に適した指導・助言・相談等を行っている。また、休学者にも復学（転 科等）の指導・助言・相談も適時行っている。		

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	日本工学院八王子専門学校
設置者名	学校法人 片柳学園

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化・教養		芸術専門課程	デザイン科 グラフィックデザイン専攻	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な 総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3 年	昼	2,490 単位時間 ／単位	510 単位時間 ／単位	0 単位時間 ／単位	2,310 単位時間 ／単位	0 単位時間 ／単位	0 単位時間 ／単位
			2,820 単位時間 ／単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
240 人の内数		103 人	2 人	8 人の内数	26 人の内数	34 人の内数	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 様式第2号の3【（3）厳格かつ適切な成績管理の実施及び公表】の1.を参照
成績評価の基準・方法
（概要） 様式第2号の3【（3）厳格かつ適切な成績管理の実施及び公表】の3.を参照
卒業・進級の認定基準
（概要） 様式第2号の3【（3）厳格かつ適切な成績管理の実施及び公表】の2.および4.を参照
学修支援等
（概要） 【個別相談・指導等の対応】欠席者に対しては、当日中に担任から電話・Eメール等で連絡することを基本とし、状況に応じて、数日続いた時点で保護者に連絡するなどの指導をしている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
48 人 (100%)	1 人 (2.1%)	41 人 (85.4%)	6 人 (12.5%)
（主な就職、業界等） （広告会社、出版社、Web 制作会社など） 株式会社電通 tempo、株式会社バズ、株式会社インフィニットポシビリティ、株式会社橋本コーポレーション、リデットエンターテイメント株式会社、株式会社 LYZON、株式会社エムエヌシー、株式会社 Netforce、GLASSY 株式会社、株式会社クライム、株式会社 Suikosha、ジャパンプリント株式会社、株式会社横浜リテラ			
（就職指導内容） 個人面談にて進路指導、履歴書・ES 添削、求人情報開示、模擬面接			
（主な学修成果（資格・検定等）） 色彩検定、ビジネス能力検定、アドビ認定プロフェッショナル、各種コンペ入選			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
112 人	3 人	2.7%
（中途退学の主な理由） 病気療養・怪我治療		
（中退防止・中退者支援のための取組） 学級担任と主任／科長による学生個人面談。懇談会・電話・オンライン面談等による保護者との情報共有。学級担任による指導のほかでは、学生生活における経済面のサポートとして学費・奨学金相談窓口、心身をサポートとしてヘルスサポートセンターを設け個々の学生に適した指導・助言・相談等を行っている。また、休学者にも復学（転科等）の指導・助言・相談も適時行っている。		

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	日本工学院八王子専門学校
設置者名	学校法人 片柳学園

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化・教養		芸術専門課程	デザイン科 イラストレーション専攻	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な 総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3 年	昼	2, 490 単位時間／単位	510 単位時間 ／単位	0 単位時間 ／単位	2, 310 単位時間 ／単位	0 単位時間 ／単位	0 単位時間 ／単位
			2, 820 単位時間／単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
240 人の内数		45 人	1 人	8 人の内数	26 人の内数	34 人の内数	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 様式第2号の3【（3）厳格かつ適切な成績管理の実施及び公表】の1.を参照
成績評価の基準・方法
（概要） 様式第2号の3【（3）厳格かつ適切な成績管理の実施及び公表】の3.を参照
卒業・進級の認定基準
（概要） 様式第2号の3【（3）厳格かつ適切な成績管理の実施及び公表】の2.および4.を参照
学修支援等
（概要） 【個別相談・指導等の対応】欠席者に対しては、当日中に担任から電話・Eメール等で連絡することを基本とし、状況に応じて、数日続いた時点で保護者に連絡するなどの指導をしている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
13 人 (100%)	1 人 (7.7%)	10 人 (76.9%)	2 人 (15.4%)
（主な就職、業界等） （広告会社、出版社、Web 制作会社など） 株式会社電通 tempo、株式会社バズ、株式会社インフィニットポシビリティ、株式会社橋本コーポレーション、リデットエンターテイメント株式会社、株式会社 LYZON、株式会社エムエヌシー、株式会社 Netforce、GLASSY 株式会社、株式会社クライム、株式会社 Suikosha、ジャパンプリント株式会社、株式会社横浜リテラ			
（就職指導内容） 個人面談にて進路指導、履歴書・ES 添削、求人情報開示、模擬面接			
（主な学修成果（資格・検定等）） 色彩検定、ビジネス能力検定、アドビ認定プロフェッショナル			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
48 人	2 人	4.2%
（中途退学の主な理由） 成績不良 等		
（中退防止・中退者支援のための取組） 学級担任と主任／科長による学生個人面談。懇談会・電話・オンライン面談等による保護者との情報共有。学級担任による指導のほかでは、学生生活における経済面のサポートとして学費・奨学金相談窓口、心身をサポートとしてヘルスサポートセンターを設け個々の学生に適した指導・助言・相談等を行っている。また、休学者にも復学（転科等）の指導・助言・相談も適時行っている。		

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	日本工学院八王子専門学校
設置者名	学校法人 片柳学園

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化・教養		芸術専門課程	デザイン科 インテリアデザイン専攻	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な 総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3 年	昼	2,490 単位時間 ／単位	510 単位時間 ／単位	0 単位時間 ／単位	2,310 単位時間 ／単位	0 単位時間 ／単位	0 単位時間 ／単位
			2,820 単位時間 ／単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
240 人の内数		52 人	1 人	8 人の内数	26 人の内数	34 人の内数	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 様式第2号の3【（3）厳格かつ適切な成績管理の実施及び公表】の1.を参照
成績評価の基準・方法
（概要） 様式第2号の3【（3）厳格かつ適切な成績管理の実施及び公表】の3.を参照
卒業・進級の認定基準
（概要） 様式第2号の3【（3）厳格かつ適切な成績管理の実施及び公表】の2.および4.を参照
学修支援等
（概要） 【個別相談・指導等の対応】欠席者に対しては、当日中に担任から電話・Eメール等で連絡することを基本とし、状況に応じて、数日続いた時点で保護者に連絡するなどの指導をしている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
17 人 (100%)	0 人 (0.0%)	16 人 (94.1%)	1 人 (5.9%)
（主な就職、業界等） （住宅・リフォーム会社、店舗設計・デザイン会社、ディスプレイ会社など） 株式会社 C.P.O 設計、株式会社キャラサーチ、株式会社パックシステム、タマホーム株式会社、みはし株式会社、株式会社モーリコーポレーション、株式会社和興、株式会社グラン・クリエイト、株式会社 BLISS、BX ゆとりフォーム株式会社			
（就職指導内容） 個人面談にて進路指導、履歴書・ES 添削、求人情報開示、模擬面接			
（主な学修成果（資格・検定等）） インテリアコーディネーター、色彩検定、ビジネス能力検定			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
64 人	3 人	4.7%
（中途退学の主な理由） 病気療養・怪我治療 等		
（中退防止・中退者支援のための取組） 学級担任と主任／科長による学生個人面談。懇談会・電話・オンライン面談等による保護者との情報共有。学級担任による指導のほかでは、学生生活における経済面のサポートとして学費・奨学金相談窓口、心身をサポートとしてヘルスサポートセンターを設け個々の学生に適した指導・助言・相談等を行っている。また、休学者にも復学（転科等）の指導・助言・相談も適時行っている。		

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	日本工学院八王子専門学校
設置者名	学校法人 片柳学園

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化・教養		芸術専門課程	デザイン科 プロダクトデザイン専攻	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な 総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3 年	昼	2, 490 単位時間 ／単位	510 単位時間 ／単位	0 単位時間 ／単位	2, 310 単位時間 ／単位	0 単位時間 ／単位	0 単位時間 ／単位
			2, 820 単位時間 ／単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
240 人の内数		50 人	3 人	8 人の内数	26 人の内数	34 人の内数	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 様式第2号の3【（3）厳格かつ適切な成績管理の実施及び公表】の1.を参照
成績評価の基準・方法
（概要） 様式第2号の3【（3）厳格かつ適切な成績管理の実施及び公表】の3.を参照
卒業・進級の認定基準
（概要） 様式第2号の3【（3）厳格かつ適切な成績管理の実施及び公表】の2.および4.を参照
学修支援等
（概要） 【個別相談・指導等の対応】欠席者に対しては、当日中に担任から電話・Eメール等で連絡することを基本とし、状況に応じて、数日続いた時点で保護者に連絡するなどの指導をしている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
25 人 (100%)	1 人 (4.0%)	24 人 (96.0%)	0 人 (0.0%)
（主な就職、業界等） （メーカー〔自動車、文具、金物系〕、制作会社など） 株式会社 SUBARU、トヨタ自動車東日本株式会社、いすゞ自動車株式会社、株式会社モノファクトリー、株式会社山英、株式会社ベスト、株式会社カワダ、秋山木工、株式会社クボプラ、株式会社ヨシムラジャパン、株式会社新和製作所、株式会社シバックス、株式会社トーシン産業			
（就職指導内容） 個人面談にて進路指導、履歴書・ES 添削、求人情報開示、模擬面接			
（主な学修成果（資格・検定等）） 色彩検定、アドビ認定プロフェッショナル、ビジネス能力検定、各種コンペ入選			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
61 人	1 人	1.6%
（中途退学の主な理由） 経済的理由		
（中退防止・中退者支援のための取組） 学級担任と主任／科長による学生個人面談。懇談会・電話・オンライン面談等による保護者との情報共有。学級担任による指導のほかでは、学生生活における経済面のサポートとして学費・奨学金相談窓口、心身をサポートとしてヘルスサポートセンターを設け個々の学生に適した指導・助言・相談等を行っている。また、休学者にも復学（転科等）の指導・助言・相談も適時行っている。		

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	日本工学院八王子専門学校
設置者名	学校法人 片柳学園

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名		学科名		専門士		高度専門士	
医療		医療専門課程		柔道整復科		○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数		開設している授業の種類					
				講義	演習	実習	実験	実技	
3 年	昼	2, 940 単位時間 / 単位		2, 025 単位時間 / 単位	0 単位時間 / 単位	0 単位時間 / 単位	0 単位時間 / 単位	915 単位時間 / 単位	
				2, 940 単位時間 / 単位					
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数		兼任教員数		総教員数	
90 人		58 人	0 人	7 人		16 人		23 人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 様式第2号の3【（3）厳格かつ適切な成績管理の実施及び公表】の1.を参照
成績評価の基準・方法
（概要） 様式第2号の3【（3）厳格かつ適切な成績管理の実施及び公表】の3.を参照
卒業・進級の認定基準
（概要） 様式第2号の3【（3）厳格かつ適切な成績管理の実施及び公表】の2.および4.を参照
学修支援等
（概要） 【個別相談・指導等の対応】欠席者に対しては、当日中に担任から電話・Eメール等で連絡することを基本とし、状況に応じて、数日続いた時点で保護者に連絡するなどの指導をしている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
24 人 (100%)	0 人 (0.0%)	22 人 (91.7%)	2 人 (8.3%)
（主な就職、業界等） 和光整形外科内科、(株)あおば、(株)サニタ、ほねごり接骨院グループ、エルフレッチェ、(株)セラップ、(株)オンアンドオン、(株)BEST メディカル、(株)爽健グローバル			
（就職指導内容） 求人情報開示、面接指導、履歴書指導、個人面談、医療系合同企業説明会			
（主な学修成果（資格・検定等）） 柔道整復師、JATI トレーニング指導者、 JATAC アスレチック・トレーナー、日本赤十字社救急法救急員、 コンディショニングインストラクター、アロマセラピー1 級			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
76 人	4 人	5.3%
（中途退学の主な理由） 病気療養・怪我治療、経済的理由 等		
（中退防止・中退者支援のための取組） 学級担任と主任／科長による学生個人面談。懇談会・電話・オンライン面談等による保護者との情報共有。学級担任による指導のほかでは、学生生活における経済面のサポートとして学費・奨学金相談窓口、心身をサポートとしてヘルスサポートセンターを設け個々の学生に適した指導・助言・相談等を行っている。また、休学者にも復学（転科等）の指導・助言・相談も適時行っている。		

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	日本工学院八王子専門学校
設置者名	学校法人 片柳学園

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
医療		医療専門課程	鍼灸科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3年	昼	2,760 単位時間/単位	1,830 単位時間/単位	0 単位時間/単位	0 単位時間/単位	0 単位時間/単位	930 単位時間/単位
			2,760 単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
90人		68人	0人	6人	16人	32人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 様式第2号の3【(3) 厳格かつ適切な成績管理の実施及び公表】の1. を参照
成績評価の基準・方法
（概要） 様式第2号の3【(3) 厳格かつ適切な成績管理の実施及び公表】の3. を参照
卒業・進級の認定基準
（概要） 様式第2号の3【(3) 厳格かつ適切な成績管理の実施及び公表】の2. および4. を参照
学修支援等
（概要） 【個別相談・指導等の対応】欠席者に対しては、当日中に担任から電話・Eメール等で連絡することを基本とし、状況に応じて、数日続いた時点で保護者に連絡するなどの指導をしている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
19 人 (100%)	1 人 (5.3%)	16 人 (84.2%)	2 人 (10.5%)
（主な就職、業界等） (株)マーサメディカル はる～hal～はりきゅう治療院 (株)クラシオン あみはりきゅう整骨院グループ (株)さくらメディカル (株) Funtree (株) With			
（就職指導内容） 求人情報開示、面接指導、履歴書指導、個人面談、医療系合同企業説明会			
（主な学修成果（資格・検定等）） はり師、きゅう師、JATI トレーニング指導者、 JMCAA 認定美容鍼灸師、トリガーポイント研究会 C 級 三旗塾認定・基礎課程、アロマセラピー1 級			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
73 人	1 人	1.4%
（中途退学の主な理由） 一身上の都合		
（中退防止・中退者支援のための取組） 学級担任と主任／科長による学生個人面談。懇談会・電話・オンライン面談等による保護者との情報共有。学級担任による指導のほかでは、学生生活における経済面のサポートとして学費・奨学金相談窓口、心身をサポートとしてヘルスサポートセンターを設け個々の学生に適した指導・助言・相談等を行っている。また、休学者にも復学（転科等）の指導・助言・相談も適時行っている。		

②学校単位の情報

a)「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考（任意記載事項）
一級自動車整備科	200,000 円	1,095,000 円	0 円	
自動車整備科	200,000 円	1,095,000 円	0 円	
建築学科	200,000 円	1,050,000 円	0 円	
建築設計科	200,000 円	1,040,000 円	0 円	
ロボット科	200,000 円	1,040,000 円	0 円	
応用生物学科	200,000 円	1,075,000 円	0 円	
機械設計科	200,000 円	1,040,000 円	0 円	
電子・電気科	200,000 円	1,040,000 円	0 円	
土木・造園科	200,000 円	980,000 円	0 円	
ゲームクリエイター科四年制	200,000 円	1,200,000 円	0 円	
ゲームクリエイター科	200,000 円	1,200,000 円	0 円	
C G映像科	200,000 円	1,200,000 円	0 円	
I Tスペシャリスト科	200,000 円	1,125,000 円	0 円	
情報処理科	200,000 円	1,125,000 円	0 円	
A I システム科	200,000 円	1,125,000 円	0 円	
情報ビジネス科	200,000 円	1,125,000 円	0 円	
ネットワークセキュリティ科	200,000 円	1,125,000 円	0 円	
医療事務科	200,000 円	880,000 円	0 円	
マンガ・アニメーション科四年制	200,000 円	1,200,000 円	0 円	
マンガ・アニメーション科	200,000 円	1,200,000 円	0 円	
放送芸術科	200,000 円	1,220,000 円	0 円	
声優・演劇科	200,000 円	1,200,000 円	0 円	
コンサート・イベント科	200,000 円	1,230,000 円	0 円	
音響芸術科	200,000 円	1,210,000 円	0 円	
ミュージックアーティスト科	200,000 円	1,210,000 円	0 円	
スポーツトレーナー科三年制	200,000 円	1,140,000 円	0 円	
スポーツ健康学科三年制	200,000 円	1,140,000 円	0 円	
スポーツ健康学科	200,000 円	1,140,000 円	0 円	
スポーツトレーナー科	200,000 円	1,140,000 円	0 円	
デザイン科	200,000 円	1,120,000 円	0 円	
柔道整復科	300,000 円	1,536,000 円	0 円	
鍼灸科	300,000 円	1,536,000 円	0 円	
修学支援（任意記載事項）				
【若きつくりびと奨学金（給付型奨学金）】 社会に貢献する人材のさらなる育成を目的に、学ぶ意欲があり優秀な学生や、経済的理由で就学が困難な学生に対し、返済不要の奨学金（新卒者向けに成績優秀者特待生・課外活動優秀者特待生・資格特待生・就学支援奨学金、既卒者向けに再進学特待生、留学生向けに留学生特待生の全6タイプ）を給付している。 それに加え高い学業成績を修めた学生へ、優秀学生校長賞として奨学金を給付している。				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法		
(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) 2022 年度評価について、HP にて公開している。 掲載 URL https://www.neec.ac.jp/public/		
学校関係者評価の基本方針（実施方法・体制）		
専修学校における学校評価ガイドラインに沿っておこなうことを基本とし、自己評価の評価結果について、学校外の関係者による評価を行い、客観性や透明性を高める。学校関係者評価委員会として卒業生や地域住民、高等学校教諭、専攻分野の関係団体の関係者等で学校関係者評価委員会を設置し、当該専攻分野における関係団体においては、実務に関する知見を生かして、教育目標や教育環境等について評価し、その評価結果を次年度の教育活動の改善の参考とし学校全体の専門性や指導力向上を図る。また、学校関係者への理解促進や連携協力により学校評価による改善策などを通じ、学校運営の改善の参考とする。		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
私立大学 非常勤講師	2024 年 4 月 1 日～ 2025 年 3 月 31 日	学校関連
日本工学院八王子専門学校 校友会会長 (IT 関連製品の開発、設計、製造企業)	2024 年 4 月 1 日～ 2025 年 3 月 31 日	卒業生/ I T 企業等委員
八王子商工会議所	2024 年 4 月 1 日～ 2025 年 3 月 31 日	地域関連
テレビ番組企画・制作会社	2024 年 4 月 1 日～ 2025 年 3 月 31 日	クリエイターズ 企業等委員
Web デザイン会社	2024 年 4 月 1 日～ 2025 年 3 月 31 日	デザイン 企業等委員
一般社団法人コンサートプロモーターズ協会	2024 年 4 月 1 日～ 2025 年 3 月 31 日	ミュージック 企業等委員
建設会社	2024 年 4 月 1 日～ 2025 年 3 月 31 日	テクノロジー 企業等委員
NPO 法人日本スレッチング協会	2024 年 4 月 1 日～ 2025 年 3 月 31 日	スポーツ 企業等委員
循環器病院	2024 年 4 月 1 日～ 2025 年 3 月 31 日	医療 企業等委員
学校関係者評価結果の公表方法		
(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) 2023 年度評価について、HP にて公開している。 掲載 URL https://www.neec.ac.jp/public/		
第三者による学校評価（任意記載事項）		
2013 年度に「私立専門学校等評価研究機構」による第三者評価を受け、第三者評価修了証を受領致しました。（期間 2013-2017 専門学校等評価基準 Ver. 4.0 適用）		

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) 日本工学院八王子専門学校 URL https://www.neec.ac.jp/hachioji/
--

(別紙)

※ この別紙は、更新確認申請書を提出する場合に提出すること。

※ 以下に掲げる人数を記載すべき全ての欄（合計欄を含む。）について、該当する人数が1人以上10人以下の場合には、当該欄に「－」を記載すること。該当する人数が0人の場合には、「0人」と記載すること。

学校コード（13桁）	H113320100062
学校名	日本工学院八王子専門学校
設置者名	学校法人片柳学園

1. 前年度の授業料等減免対象者及び給付奨学生の数

		前半期	後半期	年間
支援対象者（家計急変による者を除く）		619人	566人	640人
内 訳	第Ⅰ区分	388人	350人	
	第Ⅱ区分	142人	124人	
	第Ⅲ区分	89人	92人	
	第Ⅳ区分	0人	0人	
家計急変による支援対象者（年間）				－
合計（年間）				642人
(備考)				

※ 本表において、第Ⅰ区分、第Ⅱ区分、第Ⅲ区分、第Ⅳ区分とは、それぞれ大学等における修学の支援に関する法律施行令（令和元年政令第49号）第2条第1項第1号、第2号、第3号、第4号に掲げる区分をいう。

※ 備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

2. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の取消しを受けた者及び給付奨学生認定の取消しを受けた者の数

（1）偽りその他不正の手段により授業料等減免又は学資支給金の支給を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

年間	0人
----	----

（2）適格認定における学業成績の判定の結果、学業成績が廃止の区分に該当したことにより認定の取消しを受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修業年限で卒業又は修了できないことが確定	-	-	-
修得単位数が標準単位数の5割以下 （単位制によらない専門学校にあっては、履修科目の単位時間数が標準時間数の5割以下）	-	-	-
出席率が5割以下その他学修意欲が著しく低い状況	-	-	-
「警告」の区分に連続して該当	-	-	-
計	16人	-	21人
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

上記の（2）のうち、学業成績が著しく不良であると認められる者であって、当該学業成績が著しく不良であることについて災害、傷病その他やむを得ない事由があると認められず、遑って認定の効力を失った者の数

右以外の大学等		短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）			
年間	-	前半期	-	後半期	-

（3）退学又は停学（期間の定めのないもの又は3月以上の期間のものに限る。）の処分を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

退学	0人
3月以上の停学	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

3. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の効力の停止を受けた者及び給付奨学生認定の効力の停止を受けた者の数

停学（3月未満の期間のものに限る。）又は訓告の処分を受けたことにより認定の効力の停止を受けた者の数

3月未満の停学	0人
訓告	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

4. 適格認定における学業成績の判定の結果、警告を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のもの限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修得単位数が標準単位数の6割以下 （単位制によらない専門学校にあっては、履修科目の単位時間数が標準時間数の6割以下）	0人	0人	0人
G P A等が下位4分の1	—	0人	—
出席率が8割以下その他学修意欲が低い状況	21人	26人	32人
計	22人	26人	32人
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。